

2022年3月期 第3四半期 決算報告

2022年2月14日

第一生命ホールディングス株式会社



Dai-ichi Life
Holdings

- 第一生命ホールディングス経営企画ユニット長の西村です。
- 本日は、第一生命グループの2022年3月期第3四半期決算報告の電話会議にご参加いただきまして、ありがとうございます。
- 本日、決算報告とは別に、第一生命における金銭不正取得事案を踏まえた体制強化や再発防止等の取組状況の報告をリリースしております。当社グループでは、引き続き、経営品質の刷新に向け、一丸となって取組みを進めてまいります。
- では、私から資料に沿って決算概要をご説明し、残りの時間を質疑応答とさせていただきます。
- 2ページをご覧ください。

目次

● 本日のポイント	P.2
● グループ各社の業績概要	P.8
● グループEEV	P.17
● 参考データ	P.20

主要為替レート(TTM)

	米ドル/円	ユーロ/円	豪ドル/円
2021/12末	115.02円	130.51円	83.42円
2021/9末	111.92円	129.86円	80.46円
2021/3末	110.71円	129.80円	84.36円
2020/12末	103.50円	126.95円	78.84円
2020/9末	105.80円	124.17円	75.49円

グループ各社略称・出資比率・決算期

国内生命保険事業			出資比率	決算期
DL	第一生命		100%	
DFL	第一フロンティア生命		100%	4-3月
NFL	ネオファースト生命		100%	
海外保険事業				
PLC	プロテクトティブ	[米国] Protective Life Corporation	100%	1-12月
TAL	TAL	[豪州] TAL Dai-ichi Life Australia	100%	4-3月
DLVN	第一生命ベトナム	[ベトナム] Dai-ichi Life Insurance Company of Vietnam	100%	
DLKH	第一生命カンボジア	[カンボジア] Dai-ichi Life Insurance (Cambodia)	100%	1-12月
DLMM	第一生命ミャンマー	[ミャンマー] Dai-ichi Life Insurance Myanmar	100%	
SUD	スター・ユニオン・第一ライフ	[インド] Star Union Dai-ichi Life Insurance Company	45.9%	4-3月
PDL	パニン・第一ライフ	[インドネシア] PT Panin Dai-ichi Life	40%	
OLI	オーシャン・ライフ	[タイ] OCEAN LIFE INSURANCE PUBLIC COMPANY	24%	1-12月
DLRe	Dai-ichi Re	[バミューダ] Dai-ichi Life Reinsurance Bermuda	100%	
その他事業(アセットマネジメント事業)				
AMOne	アセットマネジメントOne		49%(持込株) 30%(経済持分)	4-3月

1. [新契約業績]

- ▶ 国内新契約ANP
- ▶ 国内新契約価値
- ▶ 海外新契約ANP

国内はDLが回復途上、海外は新型コロナ再拡大下でも堅調さを維持

- ・前年同期比+56%、前年上期に営業制約があったことから、DL・DFLは大幅に増加、NFLは前年に引き続き順調に新契約を拡大前々年同期比△6%、DLは△12%と回復途上、DFLは△5%、NFLは+48%と進展
- ・11月修正予想に対して進捗率約90%、DLは約88%、通期計測時のユニットコスト上昇見込み等を踏まえると、概ね想定内の推移DLで上期を中心に増加した収益寄与の小さい保障見直し(転換)は、3Q(10-12月の3か月)では件数全体の約2割に低下(上期実績:約3割)
- ・前年同期比+30%、PLC・TALが順調に新契約を拡大し、DLVN(ベトナム)はロックダウンの影響を受けつつも、累計でプラスを維持前々年同期比△32%、豪TALにおける超大型の団保獲得からの反動が影響、この影響を除けばグループ全体で+3%(為替変動の影響を除く)

2. [連結利益]

- ▶ グループ修正利益
- ▶ 連結純利益

11月修正予想に対して順調に推移、想定内の進捗

- ・前年同期比+51%の2,343億円、DL運用収支の回復や米PLCの利益改善等が寄与11月修正予想に対する進捗率は87%と順調に推移し、4Qに予定するDLでの追加出再やDFLでの修正共同保険式再保険(サーパス・リリーフ)の一部解約に伴う一時的な費用計上、足元の金融市場変動等を踏まえると、想定内の進捗
- ・前年同期比+77%の2,929億円(進捗率84%)グループ通算制度は、来期より予定通り導入を見込む(繰延税金資産の増加に伴い、4Qに一時益が発生する想定に変更はない)

3. [経済価値(概算)]

- ▶ グループEEV
- ▶ 資本充足率(ESR)

概ね安定した金融市場環境が寄与、DLの市場関連リスク削減も順調に進捗

- ・前期末比+8%の約7兆5,500億円、DLを中心に増加(21/9末比はほぼ横這い)
- ・前期末比+22%ptの約225%、EEV同様に自己資本が増加したこと、市場関連リスク削減の進展等が寄与(21/9末比では+5%pt)

新型コロナに関連した 保険金等のお支払いの状況*1

※1 2021年12月31日時点での判明分
海外グループ会社は12月末海損レポート(TTM)にて円換算、再保険考慮後
※2 集計開始(2020年3月)からの累計

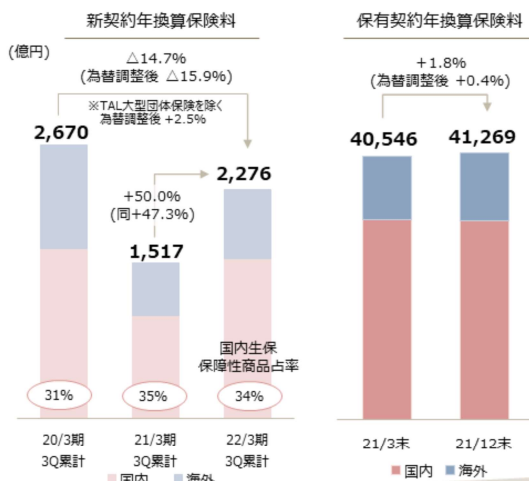
		死亡保険金(給付金)		入院給付金等	
		件数	金額	件数	金額
国内グループ会社	2021年10月-12月	373件	約25億円	22,140件	約23億円
	計測開始以来累計*2	2,129件	約127億円	61,935件	約64億円
海外グループ会社	2021年10月-12月	2,686件	約158億円	6,444件	約4億円
	計測開始以来累計*2	14,643件	約637億円	21,399件	約15億円

- 本日のポイントを以下の3点にまとめました。
- まず、新契約業績です。国内の新契約年換算保険料は、新型コロナ発生前の前々年同期比で△6%となりました。第一生命は、新契約件数は前々年同期を上回りましたが、既契約者の保障見直し(転換)を中心とした営業活動により、新規のお客さまからのご契約の占率が低下したこと等が影響し、未だ回復途上と考えています。第一フロンティア生命は回復傾向に推移しており、ネオファースト生命は、前期から引き続き新契約が順調に拡大しました。
- 国内の新契約価値は、全体で進捗率約90%、第一生命は約88%となりました。やや高めの進捗率ですが、通期計測時のユニットコスト上昇見込み等を踏まえると、概ね想定内と考えています。第一生命では、上期に収益寄与の小さい保障見直しが多く発生しました。第3四半期(10-12月の3か月)では、件数の約2割に低下していますが、引き続き一定割合を占めている状況です。
- 海外の新契約年換算保険料は、ベトナムにおいて新型コロナの感染拡大に伴うロックダウンの影響が生じたものの、全体として引き続き堅調さを維持しています。
- 続いて、連結利益です。グループ修正利益・連結純利益ともに、第一生命の運用収支の回復や米プロテクティブの利益改善等により、前年同期比で大幅な増益となりました。
- グループ修正利益は通期予想に対して順調に進捗しており、第4四半期に予定している第一生命の追加出再や第一フロンティア生命での修正共同保険式再保険(サーパス・リリーフ)の一部解約に伴う一時的な費用計上、足元の金融市場変動等を踏まえると、想定内と考えています。
- 連結純利益は、来期からのグループ通算制度の導入に伴う繰延税金資産の増加により、第4四半期に一時益が発生する想定に変更はありません。
- 最後に経済価値指標です。グループEEV・資本充足率(ESR)ともに前期末から上昇し、ESRは9月末からは+5%ptとなりました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント - 新契約業績：新契約・保有契約年換算保険料

- ▶ 国内は、新商品展開(DL・DFL)や商品改定(NFL)等も寄与し、営業制約のあった前年同期から+56%増加したものの、前々年同期比では△6% DLの新契約件数は前々年同期を上回っているものの、既契約者の保障見直しを中心とした営業活動により、新契約業績は回復途上
- ▶ 海外は全体で前年同期比+30%と、米PLCで変額年金等の販売が好調、豪TALも堅調に推移し、DLVNはロックダウンの影響を受けながらも累計でプラスを維持 前々年同期比は、豪TALの前々年同期に獲得した超大型の団体保険の影響を除けば増加しており、グループ全体で+3%増加

新契約・保有契約年換算保険料(ANP)の状況



	新契約年換算保険料				保有契約年換算保険料		
	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年 同期比	前々年 同期比	21/3末	21/12末	前期末比
国内3社計	998	1,560	+56.2%	△5.9%	30,785	30,575	△0.7% (△1.0%)
DL	399	579	+45.1%	△12.4%	20,769	20,610	△0.8%
うち第三分野	222	379	+70.3%	△7.4%	6,968	7,077	+1.6%
DFL	510	872	+71.0%	△5.4%	8,610	8,565	△0.5% (△1.7%)
うちDLチャネル販売	90	164	+82.7%	△25.9%	1,405	1,399	△0.4%
NFL	88	107	+21.3%	+47.8%	1,405	1,399	△0.4%
うちDLチャネル販売 ⁽¹⁾	45	55	+21.4%	+148.0%			
海外5社計	518	716	+38.0% (+30.2%)	△29.3% (△32.3%)	9,760	10,693	+9.6% (+4.9%)
PLC	299	424	+41.9% (+34.2%)	+58.7% (+53.0%)	5,187	5,733	+10.5% (+2.2%)
TAL ⁽²⁾	65	102	+55.8% (+47.2%)	△82.7% (△84.1%)	3,840	4,056	+5.6% (+6.8%)
DLVN	153	187	+22.7% (+15.2%)	+23.4% (+18.4%)	731	901	+23.2% (+13.2%)
DLKH/DLMM	0.8	1.0	+22.5% (+27.7%)	+44.3% (+174.2%)	1.4	2.0	+41.0% (+54.2%)
第一生命グループ計	1,517	2,276	+50.0% (+47.3%)	△14.7% (△15.9%)	40,546	41,269	+1.8% (+0.4%)

(1) 21/3期3QよりNFLにおけるDLチャネル販売分の計測方法の精緻化を反映 (2) 21/3期1Qより新契約年換算保険料の計上基準を変更しており、いずれも過年度の数値を併せて修正しています

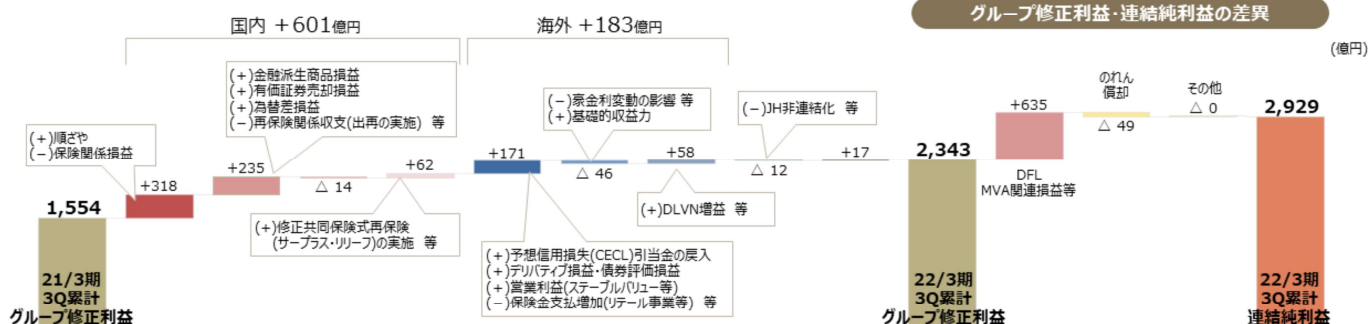
増減率の下段(△)は為替変動の影響を除く変化率

- 新契約業績について説明します。
- 第一生命では、6月に発売を開始した「入院一時金保険(限定告知型)」が若年層を含む幅広い年齢層から支持され、新契約件数は前々年同期を上回る水準となりました。しかしながら、年換算保険料では引き続き、新型コロナウイルスの見通しに不透明感が残る中、1月に発売した「総合医療一時金保険」への医療保険間での変更(約2割)を含め、既契約者の保障見直しが件数全体の約7割となり、新契約業績は回復途上と考えています。
- 現在、第一生命では、来期に向けた商品・コンサルティング体制の構築や生涯設計デザイナー給与体系を含めた制度改定の検討を行っています。また、昨年12月下旬に提供を開始したお客さまとのコミュニケーション情報サイトである「ミラシル」等、CXデザイン戦略に基づくデジタル接点の強化も今後本格化し、新しいお客さまへの販売力強化や生産性の改善を図っていきます。
- 第一フロンティア生命では、海外金利の水準が大きく異なることもあり、前々年同期を下回りましたが、主に外貨建の資産形成商品や生前贈与型の新商品の販売により月次ベースでは回復基調にあります。一方、ネオファースト生命では、4月に主力商品である医療保険の三大疾病保障の支払事由を拡大する等の商品改定を行ったことや、お客さまの健康年齢により保険料を決定する特定生活習慣病入院一時給付保険等の販売が引き続き堅調に推移しました。
- 海外各社は、前期の新型コロナウイルス感染拡大下においても概ね堅調でしたが、当期も引き続き伸展しています。前年同期比では、米プロテクトティブで法人を契約者・受取人とする保険商品や変額年金の販売が増加し、豪TALも個人・団体保険ともに増加しました。第一生命ベトナムも、主要都市のロックダウンの影響がありましたが、上期の大幅な新契約の進展から、累計ではプラスを維持しています。前々年同期比では、豪TALの前々年同期における超大型の団体保険獲得からの反動を除けば、海外全体・グループ全体ともに増加しています。
- 次のページをご覧ください。

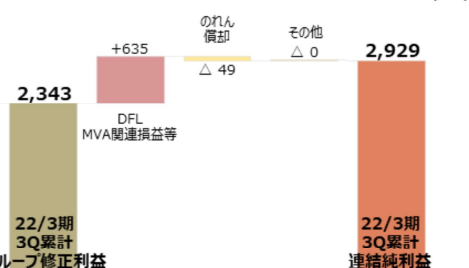
決算のポイント – 連結利益：グループ修正利益・連結純利益

- ▶ グループ修正利益は、国内ではDLの運用収支が大幅に回復、海外では米PLCにおいて保険金等支払の増加等があったものの、営業外損益が大きく改善したほか、DLVNの利益拡大等も寄与し、前年同期比+51%の2,343億円
- ▶ 連結純利益は、グループ修正利益の増加にDFLのMVA(市場価格調整)関連損益等が加わり、前年同期比+77%の2,929億円

グループ修正利益・前年同期比変動要因



グループ修正利益・連結純利益の差異



	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL	NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外	アセット マネジメント	DLRe・ HD・その他	グループ修正利益	連結純利益
22/3期 3Q累計	3,550	△2,026	281	△55	403	55	110	41	△17	2,343	2,929
21/3期 3Q累計	3,232	△2,262	295	△117	232	101	52	54	△34	1,554	1,652

(グループ修正利益からの増減金額)

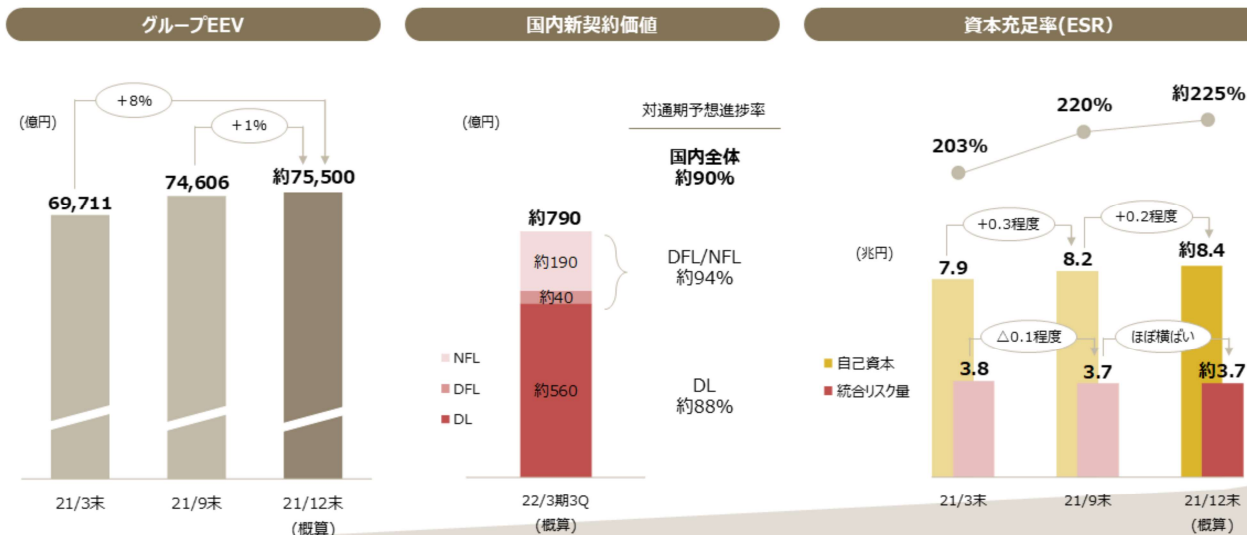
	+635	△49	△0								
	+125	△41	+14								

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

- 連結利益について説明します。
- グループ修正利益は、前年同期比で大幅に改善しました。前年同期における金融市場の急激な変動等に伴う損失から、当期は改善したことが主な要因です。
- 第一生命では、金融派生商品損益を中心にキャピタル損益が大幅に改善し、株式配当や投信関連損益等が順ざや増加に寄与しました。
- 米プロテクトでは、評価損益を中心とした営業外損益が大きく反転しました。保険金支払の増加に加え、第3四半期(7-9月)に新型コロナ等による死亡率の上昇を反映し、主にリテール事業の損益が悪化しましたが、全体では前年同期を上回る水準を確保しています。
- 豪TALは、豪州金利のイールドカーブが前期末比で大きくフラットニングしたこと等を受け、資産・保険負債の時価変動による損益がマイナス方向に影響しましたが、基礎的収益力に大きな改善が見られています。第一生命ベトナムは、順調に利益を拡大しました。
- 連結純利益では、海外金利変動や期間の経過に伴うMVAの取崩しにより、第一フロンティア生命のMVA関連損益等がプラスに寄与しました。
- 次のページをご覧ください。

決算のポイント – 経済価値(概算)⁽¹⁾：グループEEV・国内新契約価値・資本充足率(ESR)

- ▶ グループEEVは、前期末からDLを中心に増加し、+8%の約7兆5,500億円、21/9末比ではほぼ横這い
- ▶ 国内新契約価値は、11月修正予想に対して進捗率約90%、DLは約88%となったものの、通期計測時のユニットコスト上昇見込み等を踏まえると、概ね想定内の推移DLにおいて上期を中心に増加した収益寄与の小さい保障見直しは、3Q(10-12月の3か月)では新契約件数の約2割に低下(上期実績：約3割)
- ▶ 資本充足率は、EEV成長等により自己資本が増加した一方、市場リスク削減の進展がリスク量の増加を抑制し、前期末比+22%ptの約225%、21/9末比では+5%pt



(1) 計測対象および計測手法について一部簡便的な取扱を行った概算値です

5

- 経済価値指標についてまとめています。
- グループEEVは前期末比で増加、9月末比ではほぼ横這いとなりました。前期末比では、主に第一生命において、国内で超長期のフォワード・レートが上昇したことや株式等の含み益が拡大したことが寄与しました。
- 国内の新契約価値は、全体で約790億円となり、11月修正予想に対して約90%の進捗率となりました。
- うち第一生命の新契約価値は、約88%の進捗率となりました。通期計測時のユニットコスト上昇見込み等を踏まえると、概ね想定の範囲内での進捗ですが、第3四半期(10-12月の3か月)においても、収益寄与の小さい医療保険間の保障見直しが件数全体の約2割を占めており、新契約収益には一定の下押し圧力が残っています。
- 第一フロンティア生命の新契約価値は、新商品効果もあり、販売実績が想定をやや上回って推移しています。ネオファースト生命では、医療保険を中心とした順調な販売拡大が寄与しました。
- 資本充足率は、EEVの成長等により資本量が増加したことに加え、市場関連リスク削減の順調な進展が金融市場変動に伴う統合リスク量の増加を抑制し、前期末比+22%ptとなりました。9月末比では、来期の第一生命における劣後借入の弁済も見据えた劣後債調達の実施等により資本量が増加し、+5%ptとなりました。
- 次のページをご覧ください。

グループ連結主要業績および2022年3月期業績予想

- ▶ グループ修正利益・連結純利益ともに、11月修正予想に対して順調に推移し、4Qに予定するDLでの追加出再やDFLでの修正共同保険式再保険(サンプラス・リリーフ)の一部解約に伴う一時的な費用計上、足元の金融市場変動等を踏まえると、想定内の進捗であり、通期予想に変更はない
- ▶ グループ通算制度は、来期より予定通り導入を見込む(繰延税金資産の増加に伴い、4Qに一時益が発生する想定に変更はない)

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年 同期比	(%)	対通期予想 進捗率	21/3期 通期実績	22/3期 通期予想	前期比	(%)
連結経常収益	50,850	56,737	+ 5,887	+ 12%	78%	78,278	72,320	△ 5,958	△ 8%
第一生命	27,015	31,695	+ 4,679	+ 17%	78%	38,117	40,550	+ 2,433	+ 6%
第一フロンティア生命	12,349	13,872	+ 1,523	+ 12%	87%	22,171	15,890	△ 6,281	△ 28%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	7,822	9,715	+ 1,892	+ 24%	78%	12,107	12,400	+ 293	+ 2%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	5,117	4,875	△ 242	△ 5%	75%	6,267	6,520	+ 253	+ 4%
連結経常利益	3,012	4,674	+ 1,662	+ 55%	90%	5,528	5,200	△ 328	△ 6%
第一生命	2,111	2,927	+ 815	+ 39%	77%	3,737	3,780	+ 43	+ 1%
第一フロンティア生命	536	1,118	+ 582	+ 109%	164%	1,147	680	△ 467	△ 41%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	274	443	+ 169	+ 61%	89%	461	500	+ 39	+ 8%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	187	89	△ 97	△ 52%	60%	253	150	△ 103	△ 41%
連結純利益⁽²⁾	1,652	2,929	+ 1,276	+ 77%	84%	3,637	3,490	△ 147	△ 4%
第一生命	970	1,523	+ 553	+ 57%	76%	1,960	2,000	+ 40	+ 2%
第一フロンティア生命	421	916	+ 495	+ 118%	100%	863	920	+ 57	+ 7%
米プロテクト (百万米ドル) ⁽¹⁾	219	360	+ 140	+ 64%	88%	362	410	+ 48	+ 13%
泰TAL (百万泰ドル) ⁽¹⁾	122	61	△ 61	△ 50%	61%	171	100	△ 71	△ 42%
グループ修正利益	1,554	2,343	+ 789	+ 51%	87%	2,828	2,700程度	△ 128	△ 5%
グループ新契約価値⁽³⁾	-	-	-	-	-	1,271	1,190程度	△ 81	△ 6%
					1株あたり配当金(円)	62	80	+ 18	+ 29%
(参考)基礎利益	4,131	4,579	+ 448	+ 11%	82%	6,232	5,600程度	△ 632	△ 10%
第一生命	3,232	3,550	+ 317	+ 10%	79%	4,805	4,500程度	△ 305	△ 6%

(1) 米PLCおよび泰TALの数は、各国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示しています (2) 親会社株主に帰属する当期純利益です (3) グループ新契約価値実績は、2Q・4Qでの開示となります

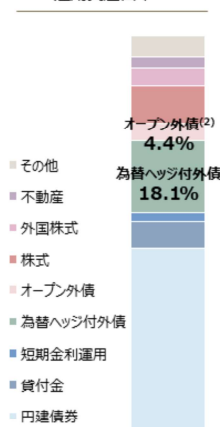
- 経常項目を含めた、11月に修正した通期予想に対する進捗です。
- グループ修正利益・連結純利益ともに順調に推移しており、想定内の進捗であることから、現時点で通期予想に変更はありません。
- また、来期より適用検討中のグループ通算制度の導入、および第4四半期における一時益の発生についても、想定に変更はありません。
- 次のページをご覧ください。

【参考】第一生命の外貨建債券運用の状況

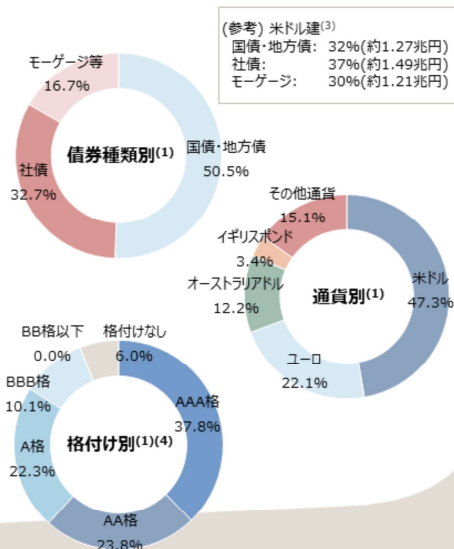
- ▶ DLでは、ALMに基づくバランス運用において、広義の確定利付資産運用の一環としての為替ヘッジ付外債と、リスク性資産運用としてのオープン外債を保有
- ▶ 通貨・債券種類・格付け等の観点から分散した運用ポートフォリオを構築し、厳格なリスク管理のもとで、トータルリターンを企図した運用を行う
- ▶ 足元の海外金利上昇や今後の市場見通し等を踏まえ、為替ヘッジ付外債ではヘッジコスト考慮後の期待利回りを勘案の上、運用利回りの向上を目的とした機動的な残高コントロール(売却・入替)を実施

外貨建債券運用の状況

運用資産占率(1)



[21/12末]	外貨建債券 全体(2)	為替ヘッジ付	オープン(2)	(参考) 米ドル建(3)
貸借対照表価額	86,671	69,732	16,939	39,854
簿価	78,806	64,032	14,774	36,886
含み損益	7,865	5,699	2,165	2,967
含み益(3)	8,556	6,380	2,175	3,226
含み損(3)	△ 690	△ 680	△ 10	△ 258
デレレーション(3)	約9年	約9年	約7年	約8年
[22/3期3Q累計]				
利息・配当金等収入	1,604	1,276	327	
為替差損益(ヘッジコスト)	△ 196	△ 197	0	
有価証券売却損益	△ 503	△ 519	16	



(1) 貸借対照表価額ベース (2) 外貨公社債投資信託を含む (3) 外貨公社債投資信託を除く内部管理ベース
(4) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用、モーゲージ等を除く

- 最後に参考として、第一生命の外貨建債券運用の状況について補足します。
- 第一生命では、ALMに基づくバランス運用において、広義の確定利付資産運用の一環として為替ヘッジ付外債を約7兆円、リスク性資産運用としてオープン外債を約1.7兆円保有しています。通貨別では、米ドル、ユーロ、豪ドルを中心に、現在17通貨に投資しています。
- 債券種類では、国債以外の社債等へも分散された構造となっており、投資先の信用力等に基づく運用ガイドラインに基づき、厳格なリスク管理の下で、インカム収益と時価変動を踏まえたトータルリターンの向上を企図した運用を行っています。
- 現在、米国を中心に海外金利のボラティリティが高まっていますが、第一生命では、今後の市場見通し等を踏まえ、為替ヘッジ付外債では上昇が見込まれるヘッジコストも考慮し、運用利回りの向上を目的とした機動的な残高コントロールを実施していきます。
- 私からの説明は以上です。

グループ各社の業績概要

【グループ各社の業績概要】

国内生命保険事業 - 第一生命



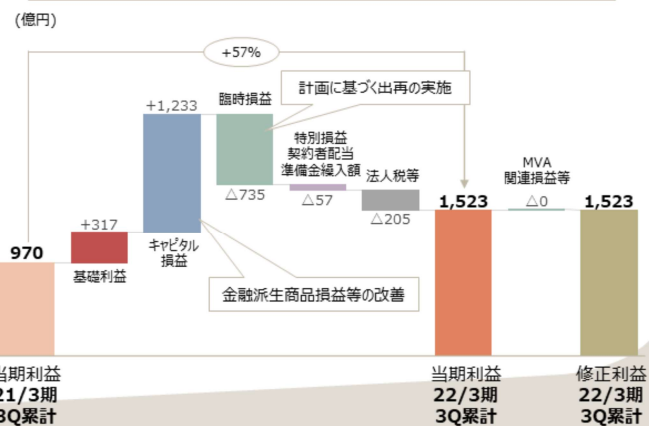
- ▶ 基礎利益は、予定利息の減少やプライベートエクイティ・投資信託の増配等を背景とした順ざやの増加を主な要因として前年同期比+10%増加の3,550億円
- ▶ 修正利益は、出再に伴う臨時損失を計上しつつも、前年同期に金融市場変動に伴って計上した金融派生商品損の大幅な改善により、+57%増加の1,523億円

単体業績

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	16,611	16,652	+ 40	+ 0%
基礎利益	3,232	3,550	+ 317	+ 10%
順ざや	1,054	1,446	+ 392	+ 37%
保険関係損益	2,177	2,103	△ 73	△ 3%
キャピタル損益	△ 513	720	+ 1,233	
有価証券売却損益	1,176	1,323	+ 147	
金融派生商品損益	△ 1,309	△ 352	+ 956	
為替差損益	△ 343	△ 202	+ 141	
有価証券評価損	△ 60	△ 58	+ 2	
臨時損益	△ 607	△ 1,343	△ 735	
新規追加責任準備金繰入額	△ 590	△ 544	+ 46	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 7	-	+ 7	
再保険関連収支	-	△ 798	△ 798	
経常利益(損失)	2,111	2,927	+ 815	+ 39%
特別損益	△ 187	△ 200	△ 12	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 127	△ 135	△ 7	
契約者配当準備金繰入額	△ 564	△ 608	△ 44	
法人税等合計	△ 388	△ 594	△ 205	
当期純利益(損失)	970	1,523	+ 553	+ 57%
(参考) 基礎利益における再保険取引の影響額 ⁽¹⁾	+約45	+約110	+約65	

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	970	1,523	+553	+57%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



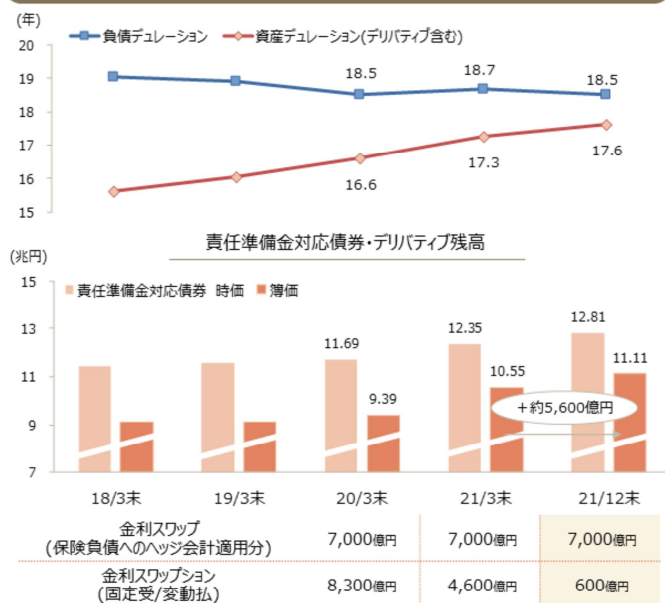
(1) 再保険取引の影響額: 19/3期より実施している戦略的な終身保険の再保険取引(出再)による、予定利息の軽減効果や保険関係損益に与える影響額(概算)

[グループ各社の業績概要]

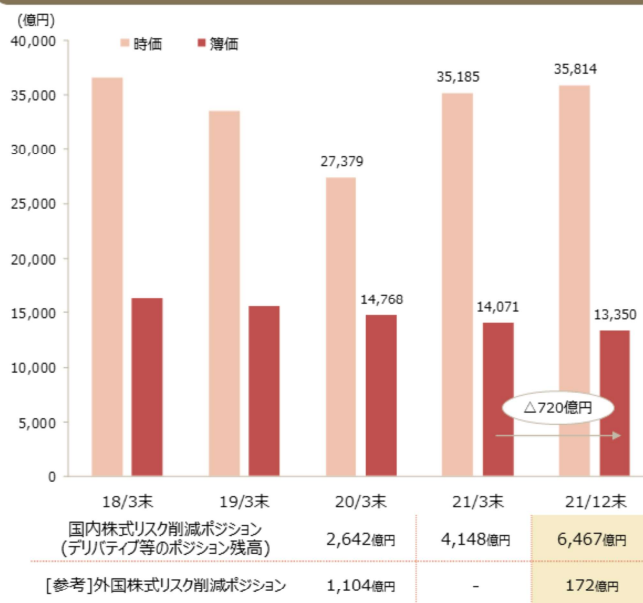
第一生命 - 市場関連リスク削減の取組状況



デレーションと責任準備金対応債券の積み増し状況⁽¹⁾



国内株式の簿価・時価⁽²⁾



(1) 一般勘定資産のうち主に個人保険・個人年金に係る経理区分の保険負債と円建て定期付資産(金利スワップを含む)の会計上のデレーション、および責任準備金対応債券・デリバティブ残高
責任準備金対応債券とは、保険会社向けに認められた区分で、一定の要件を満たせば簿価原価法による評価が認められているものを指します

(2) 国内株式のうち時価のあるもの(子会社・関連会社株式、非上場国内株式は除く) 21/12末において純投資目的以外の目的で保有する株式(みなし保有株式は除く)の簿価残高は746億円

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – 第一フロンティア生命



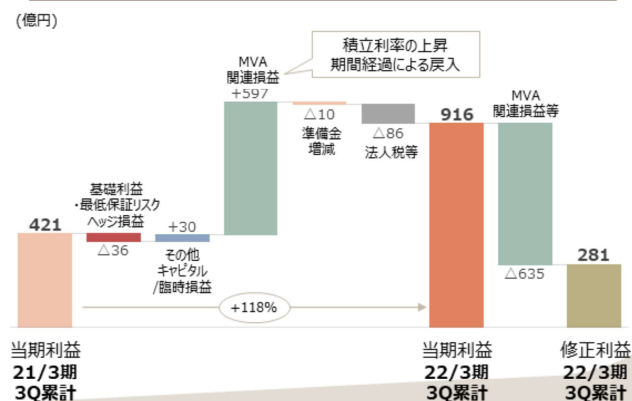
- ▶ 基礎利益は、最低保証リスクに係る損益の悪化により、前年同期比△23%減少の303億円
- ▶ 当期利益は、MVA(市場価格調整)関連損益+665億円の計上等により、前年同期比+118%増加の916億円
MVA関連損益を除く修正利益は、ターゲット到達に係る債券売却益の計上等があったものの、前年同期比では△5%減少の281億円

単体業績⁽¹⁾

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	6,496	10,110	+ 3,613	+ 56%
基礎利益⁽²⁾	395	303	△ 92	△ 23%
順次・保険関係損益等	353	326	△ 26	
最低保証リスクに係る損益(責任準備金増減等)	41	△ 23	△ 65	
キャピタル損益	324	819	+ 494	
最低保証リスクヘッジ損益	△ 75	△ 19	+ 56	
MVA(市場価格調整)関連損益	△ 52	665	+ 718	
その他キャピタル損益(有価証券売却損益等)	452	172	△ 279	
臨時損益	△ 183	△ 4	+ 179	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	6	△ 4	△ 10	
MVA(市場価格調整)関連損益(再保険関連)	120	-	△ 120	
その他臨時損益(再保険関連収支等)	△ 310	0	+ 310	
経常利益(損失)	536	1,118	+ 582	+ 109%
特別損益	△ 43	△ 43	△ 0	
価格変動準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 42	△ 43	△ 0	
法人税等合計	△ 72	△ 157	△ 85	
当期純利益(損失)	421	916	+ 495	+ 118%
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益	320	283	△ 36	
その他キャピタル・その他臨時損益	141	172	+ 30	
MVA(市場価格調整)関連損益	68	665	+ 597	
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 108	△ 205	△ 96	

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	295	281	△ 14	△ 5%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期1Qより各損益の内訳の項目名を修正の上、従来の事業利益を組替え、一時的な有価証券売却損益等のキャピタル損益やその他臨時損益の再保険関連収支を区分する開示方法に変更しています
(2) 21/3期1Qより基礎利益の基準変更を行い、外貨建保険商品対応のための通貨スワップ及び金利スワップ取引に係る受取・支払利息の額及び再保険取引に係る金銭の借入等にて留保する資産より生じる影響額についてはキャピタル損益より組み替えています

[グループ各社の業績概要]

国内生命保険事業 – ネオファースト生命



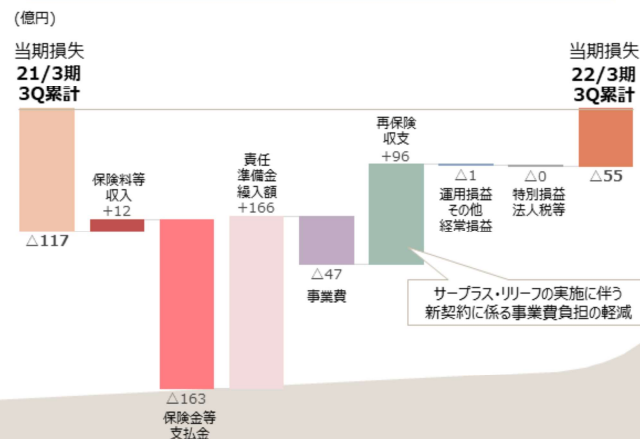
- ▶ 保険料等収入は、経営者保険の解約が一部生じたものの、堅調な新契約獲得により、前年同期比 + 1% 増加
- ▶ 経営者保険の解約に伴う保険金等支払金の増加は、責任準備金等の戻入によって相殺
修正共同保険式再保険(サンプラス・リリーフ)の実施に伴う新契約に係る事業費負担の軽減等により、当期純損失は△55億円(前年同期は△117億円)に改善

単体業績

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	985	997	+ 12	+ 1%
保険金等支払金(再保険料を除く)	△ 147	△ 310	△ 163	
保険金・年金・給付金	△ 42	△ 68	△ 26	
解約返戻金・その他返戻金	△ 105	△ 242	△ 136	
責任準備金等繰入額	△ 636	△ 470	+ 166	
危険準備金繰入(△)/戻入額(+)	△ 2	△ 1	+ 1	
事業費	△ 201	△ 248	△ 47	
再保険収支	△ 110	△ 14	+ 96	
資産運用損益・その他経常損益	△ 6	△ 8	△ 1	
資産運用損益	1	3	+ 1	
その他経常損益	△ 8	△ 11	△ 3	
経常利益(損失)	△ 117	△ 54	+ 62	-
特別損益	△ 0	△ 0	△ 0	
法人税等合計	△ 0	△ 0	-	
当期純利益(損失)	△ 117	△ 55	+ 62	-
基礎利益	△ 114	△ 54	+ 60	-

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	△ 117	△ 55	+ 62	-

当期純利益(損失)の変動要因



[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 米プロテクティブ

(21/12期4Q(10-12月)決算は、現地3/1頃の公表を予定)



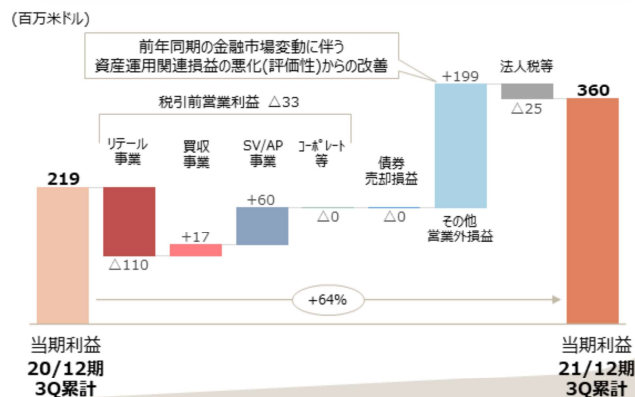
- ▶ 営業利益は、ステープルバリュー事業の利益増加が寄与したものの、リテール事業におけるコロナ関連の保険金支払い増加による損益悪化や死亡率の見直し等が影響し、前年同期比△10%減少の295百万米ドル
- ▶ 当期純利益は、前年同期の金融市場変動に伴う債券評価損や商業モーゲージローンに対する貸倒引当金繰入負担等の改善により、大幅増加の360百万米ドル

単体業績

(百万米ドル)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,384	4,728	+ 343	+ 8%
税引前営業利益⁽¹⁾	328	295	△ 33	△ 10%
リテール保険8年金	44	△ 66	△ 110	-
買収	238	255	+ 17	+ 7%
ステープルバリュー(SV)	62	128	+ 66	+ 107%
アセットプロテクション(AP)	36	29	△ 6	△ 18%
コーポレート等	△ 51	△ 52	△ 0	-
営業外損益(償却調整後)	△ 54	145	+ 199	
債券売却損益	44	44	△ 0	
債券評価損・株式評価損益等	△ 99	5	+ 105	
商業モーゲージローン貸倒引当金増減	△ 101	128	+ 229	
修正共同保険式再保険に関する損益	93	△ 16	△ 109	
デリバティブ損益(変動/定額年金等)	△ 49	64	+ 114	
市場変動に伴う変動商品のDAC償却等の変動 ⁽²⁾	-	13	+ 13	
営業外損益に係るDAC等償却の変動	58	△ 94	△ 152	
法人税等	△ 55	△ 80	△ 25	
当期純利益(損失)	219	360	+ 140	+ 64%
当期純利益 ※円換算後: 億円	232	403	+ 171	+ 74%
決算為替レート(対円)	105.80	111.92	+ 6.12	+ 6%

(億円)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	232	403	+171	+74%

当期純利益(損失)の変動要因



(1) 純利益から資産運用やデリバティブにおけるキャピタル損益を控除した利益指標

(2) 21/12期1Qより、変動商品のDAC等償却や最低保証責任準備金等の変動による損益のうち、金融市場変動による収益前提の変動に伴う損益を税引前営業利益から除外し、営業外損益として組み替えています。過年度数値の修正は行っていない

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 豪TAL

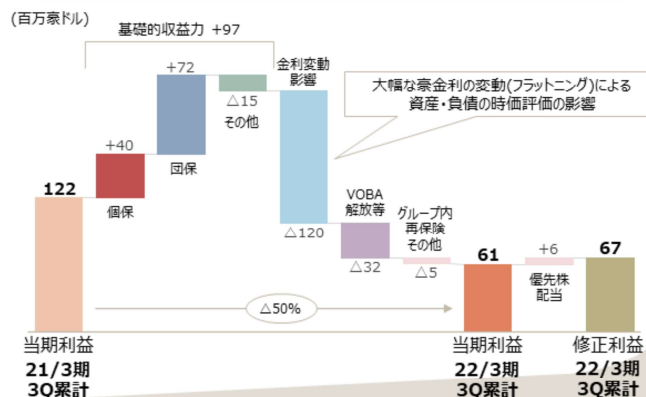
- ▶ 基礎的収益力は、個人・団体保険の損益改善や、アステロン・ライフの保険負債評価のモデル変更に伴う一時益により、前年同期比+65%増加の247百万豪ドル。当期純利益は、Westpac Lifeの買収に関連する費用や前期末比での大幅な豪金利の変動(フラットニング)による資産・負債の時価評価の影響等を受け、61百万豪ドル
- ▶ アステロン・ライフの統合プロセスの完了を踏まえ、10月に同社資産・負債のTALへの移転を実施

単体業績

(百万豪ドル)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入	4,334	4,686	+ 351	+ 8%
基礎的収益力(税引後)⁽¹⁾	149	247	+ 97	+ 65%
個人保険	150	191	+ 40	+ 27%
団体保険	1	73	+ 72	+ 4,241%
その他(基礎的項目)	△ 2	△ 17	△ 15	-
基礎的収益外損益(税引後)	△ 27	△ 186	△ 158	
金利変動に伴う資産・保険負債の変動	24	△ 95	△ 120	
VOBAの解放・VIF償却	18	△ 14	△ 32	
優先株配当等	△ 12	△ 11	+ 0	
グループ内再保険(出再)の影響 ⁽²⁾	△ 22	△ 32	△ 10	
その他	△ 35	△ 31	+ 4	
当期純利益(損失)	122	61	△ 61	△ 50%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	96	50	△ 45	△ 47%
決算為替レート(対円)	78.84	83.42	+ 4.58	+ 6%

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	101	55	△ 46	△ 45%

当期純利益(損失)の変動要因および修正利益との差異



(1) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの基礎的収益力を個人保険・団体保険・その他(基礎的項目)に組み替え、過年度の数値を併せて修正しています
(2) グループ資本効率率の観点から、豪TALよりグループ会社(DL)へ再保険(出再)を行ったことに伴う損益を記載しています

[グループ各社の業績概要]

海外保険事業 – 第一生命ベトナム



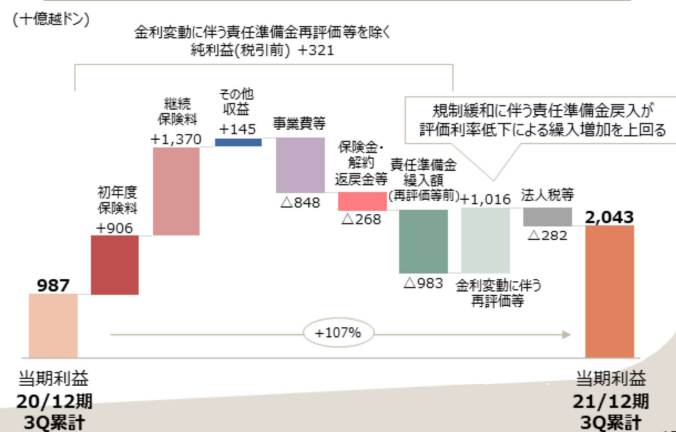
- ▶ 堅調な新契約伸展と保有契約の拡大に伴い、保険料等収入は前年同期比+22%増加
- ▶ 当期純利益は、継続保険料拡大を通じた利益寄与に加え、一部商品の責任準備金計算の規制緩和に伴う戻入が寄与し、前年同期比+107%の2,043十億越ドン

単体業績

(十億越ドン)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
保険料等収入(再保険収入を除く)	10,482	12,758	+ 2,276	+ 22%
初年度保険料	3,392	4,298	+ 906	+ 27%
継続保険料 ⁽¹⁾	7,089	8,459	+ 1,370	+ 19%
その他収益	941	1,086	+ 145	
資産運用収益等	1,328	1,589	+ 261	
再保険収支	△ 386	△ 502	△ 116	
事業費等	△ 5,312	△ 6,161	△ 848	
初年度販売手数料・経費等	△ 4,121	△ 4,789	△ 668	
継続手数料・事務管理費	△ 1,191	△ 1,372	△ 180	
保険金・解約返戻金等	△ 1,156	△ 1,424	△ 268	
責任準備金繰入額等	△ 3,718	△ 3,685	+ 33	
責任準備金繰入額(再評価等考慮前)	△ 3,006	△ 3,989	△ 983	
金利変動に伴う責任準備金再評価等	△ 712	304	+ 1,016	
法人税等	△ 248	△ 530	△ 282	
当期純利益(損失)	987	2,043	+ 1,055	+ 107%
当期純利益(損失) ※円換算後: 億円	45	100	+ 54	+ 120%
決算為替レート(対円)	0.0046	0.0049	+ 0.0003	+ 7%
金利変動に伴う責任準備金再評価等を除く純利益(税引後)	1,557	1,799	+ 242	+ 16%

(億円)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
修正利益	45	100	+54	+120%

当期純利益(損失)の変動要因



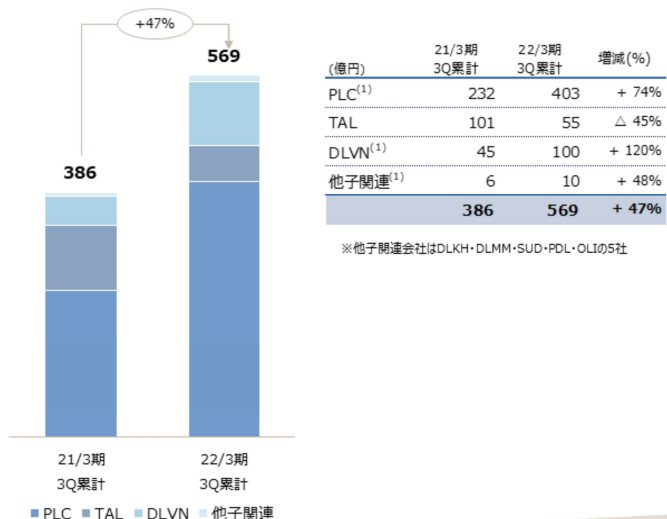
(1) 契約より2年目以降の保険料収入です

[グループ各社の業績概要]

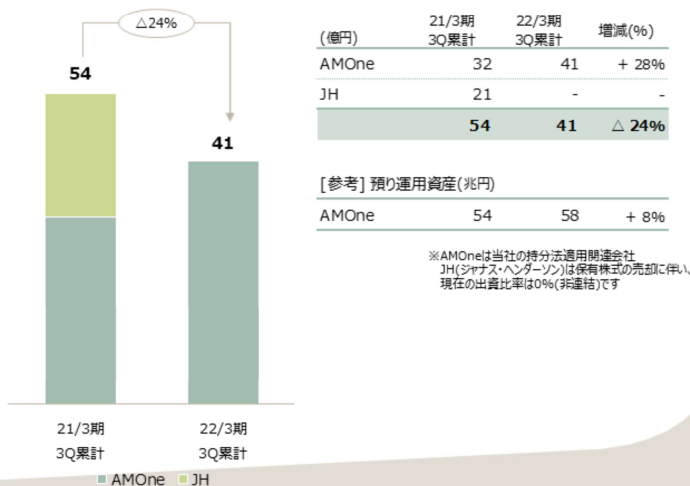
海外保険事業・その他事業(アセットマネジメント事業)

- ▶ 海外保険事業の修正利益は、米PLCの大幅な損益改善やDLVN(ベトナム)の利益拡大等により、前年同期比+47%増加の569億円
- ▶ アセットマネジメント事業は、預り運用資産の増加等からAMOneが増益となったものの、ジャナス・ヘンダーソンの非連結化により、前年同期比△24%減少の41億円

海外保険事業 修正利益合計



その他事業(アセットマネジメント事業) 修正利益合計



(1) 決算日が12月31日の子関連会社はPLC・DLVN・DLKH・DLMM・PDL・OLIの6社です

グループEEV (European Embedded Value)

▶ グループEEVは、DLにおいて金融市場変動が金利・株式ともにプラス寄与したこと等から、前期末比約+5,800億円増加の約7兆5,500億円

(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	69,711	約75,500	約+5,800
対象事業(covers business)のEEV ⁽¹⁾	69,971	約75,500	約+5,500
修正純資産	69,622	約71,300	約+1,700
保有契約価値	349	約4,200	約+3,800
対象事業以外の純資産等に係る調整 ⁽²⁾	△259	約△0	約+200

[参考] 現地通貨建

(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減	(億円)	20/12末	21/9末 (概算値)	増減	20/12末	21/9末 (概算値)	増減
DL	51,274	約54,900	約+3,600	米PLC	6,240	約7,600	約+1,300	6,029	約6,800	約+700
修正純資産	58,378	約58,700	約+300	修正純資産	3,746	約4,200	約+500	3,620	約3,800	約+100
保有契約価値	△7,103	約△3,800	約+3,300	保有契約価値	2,493	約3,400	約+900	2,409	約3,000	約+600
(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減	(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減	21/3末	21/12末 (概算値)	増減
DFL	5,875	約6,100	約+200	豪TAL	4,127	約4,100	約△0	4,892	約4,900	約+0
修正純資産	4,855	約5,700	約+900	修正純資産	2,161	約2,100	約△0	2,562	約2,500	約△0
保有契約価値	1,020	約300	約△700	保有契約価値	1,966	約2,000	約+0	2,330	約2,400	約+100

(米PLC: 百万米ドル 豪TAL: 百万豪ドル)

(1) 対象事業(covers business)とは、EEV原則で定められているEV手法を適用した範囲の中で、EEV原則では、対象事業のEEVを開示することを求めています
第一生命グループでは従前は、第一生命グループが行うすべての事業を対象事業としていましたが、2016年10月1日付の持株会社体制移行後は、生命保険事業を行う子会社(DL、DFL、NFL、米PLC、豪TAL、DLVN(ベトナム)およびこれらの子会社)を対象事業としました

(2) 「対象事業以外の純資産等に係る調整」には、第一生命ホールディングスの単体貸借対照表の純資産の部(評価・換算差額等合計を除く、21/3末: 13,674億円、21/12末: 約13,000億円)、第一生命ホールディングスの生命保険事業子会社6社に対する出資に係る調整(21/3末: △14,773億円、21/12末: 約△13,900億円)、第一生命ホールディングスが保有する資産・負債を時価評価する調整が含まれます

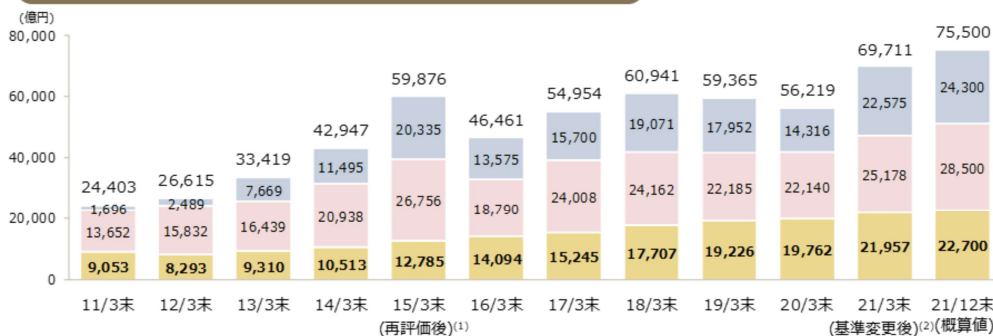
資産・負債の対応を考慮したEEVの再分類

資産・負債の対応を考慮した再分類

(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	69,711	約75,500	約+5,800
対象事業(covers business)のEEV	69,971	約75,500	約+5,500
修正純資産	69,622	約71,300	約+1,700
保有契約価値	349	約4,200	約+3,800
対象事業以外の純資産等に係る調整	△259	約△0	約+200

(億円)	21/3末	21/12末 (概算値)	増減
第一生命グループEEV	69,711	約75,500	約+5,800
確定利付資産以外の含み損益等 ⁽³⁾	22,575	約24,300	約+1,700
保有契約価値+確定利付資産の含み損益等 ⁽⁴⁾	25,178	約28,500	約+3,400
純資産等+負債中の内部留保 ⁽⁵⁾	21,957	約22,700	約+700

資産・負債の対応を考慮した再分類による第一生命グループEEVの推移



保有契約価値+含み損益等:
保険契約の保有により生じる将来利益

確定利付資産以外の含み損益等⁽³⁾

保有契約価値+確定利付資産の含み損益等⁽⁴⁾

純資産等+負債中の内部留保⁽⁵⁾
: 実現利益の累積額に相当

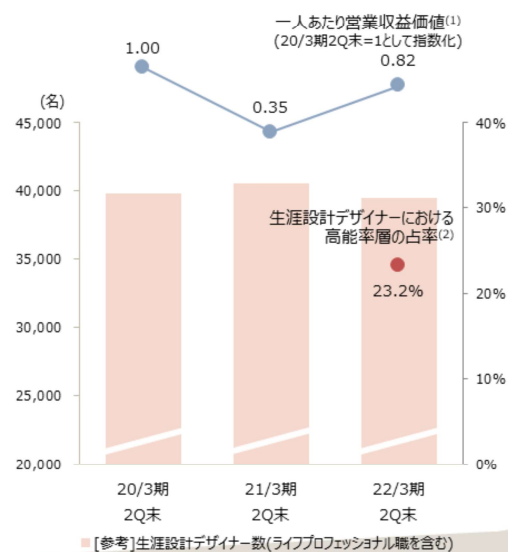
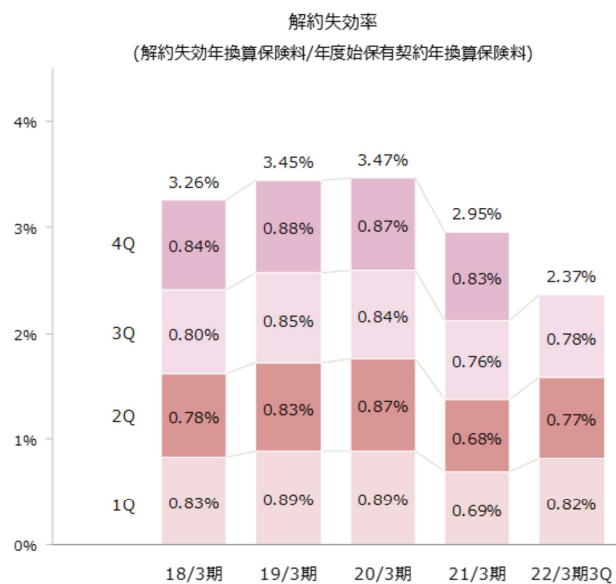
- (1) 終局金利を用いた方法による再評価後の数値を記載
 (2) 21/3期より基準変更(円金利の超長期補填のための終局金利等の変更、DFLの負債評価に用いる割引率への仕積スプレッドの反映)を実施
 (3) DLが保有する確定利付資産以外の資産(株式、外貨建債券(ヘッジ外債を除く)、不動産等)の含み損益等の額を計上
 (4) 保有契約価値に、DLの確定利付資産ならびにDFLおよびUNFLの資産の含み損益等を加算・調整した額を計上
 本項目は、未実現利益のうち、主に金利の影響を受ける部分であり、金利水準等の変化に因り、保有契約価値および確定利付資産の含み損益等の変動額は、お互いに相殺関係にあります
 (5) 対象事業のEEVの修正純資産に対象事業以外の純資産等に係る調整を反映し、含み損益等を除いた額を計上

参考データ

[第一生命] 営業関連指標 – 解約失効・営業職数および生産性

解約失効(個人保険・個人年金 年換算保険料ベース)

生涯設計デザイナーの営業生産性と高能率層の占有率



(1) 各期の営業収益価値(営業部門の獲得収益を表す当社独自の指標であり、経済環境の変動要因を除外した新契約価値に相当)を分子、入社初年度を除く生涯設計デザイナー数を分母として計算
(2) 所定の資格水準を満たす、お客さまに対するコンサルティング能力の高い生涯設計デザイナーの割合です

[第一生命] 資産運用の状況① - 資産運用収益・費用の内訳

利息・配当金等収入の内訳

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
利息・配当金等収入	6,009	6,092	+ 82	+ 1%
公社債	2,053	2,018	△ 34	△ 2%
株式	333	432	+ 99	+ 30%
外国証券	2,269	2,334	+ 65	+ 3%
その他の証券	466	438	△ 27	△ 6%
買付金	293	294	+ 1	+ 0%
不動産	551	532	△ 18	△ 3%

[参考] 21/3期 有価証券運用利回り

(億円)	利息・配当金等収入	日々平均残高	利回り ⁽¹⁾
一般勘定計	8,365	347,532	2.41%
公社債	2,729	159,348	1.71%
株式	600	15,101	3.98%
外国証券	3,322	105,966	3.13%
その他の証券	530	6,771	7.83%
買付金	391	25,723	1.52%
不動産 ⁽²⁾	737	7,795	9.45%

有価証券売却損益・有価証券評価損の内訳

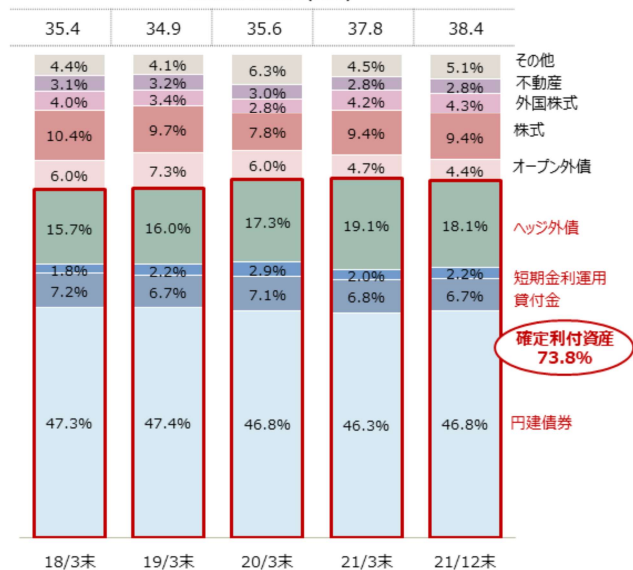
(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
有価証券売却益	2,066	2,471	+ 405	+ 20%
公社債	596	667	+ 71	+ 12%
株式	383	948	+ 565	+ 147%
外国証券	1,067	826	△ 240	△ 23%
その他の証券	19	29	+ 9	+ 48%
有価証券売却損	890	1,147	+ 257	+ 29%
公社債	3	45	+ 42	+ 1,243%
株式	12	69	+ 57	+ 462%
外国証券	602	850	+ 248	+ 41%
その他の証券	272	181	△ 90	△ 33%
有価証券売却損益	1,176	1,323	+ 147	+ 13%
有価証券評価損	60	58	△ 2	△ 4%
公社債	-	-	-	-
株式	58	28	△ 29	△ 51%
外国証券	2	11	+ 9	+ 461%
その他の証券	-	17	+ 17	-

(1) 利息・配当金等収入を分子、日々平均残高を分母として計算
(2) 投資用不動産

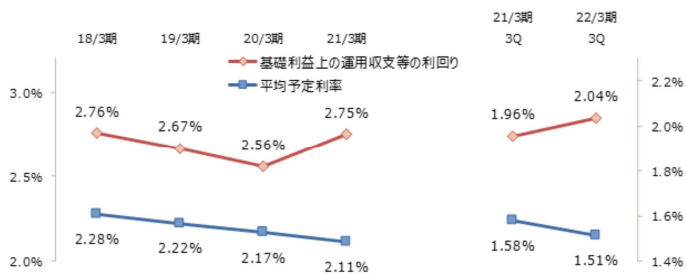
[第一生命] 資産運用の状況② - 運用資産構成・資産運用利回りと平均予定利率

運用資産の構成(一般勘定)⁽¹⁾

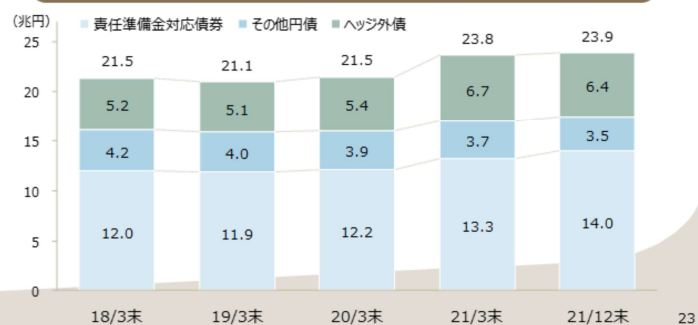
一般勘定資産合計(兆円)



資産運用利回りと平均予定利率



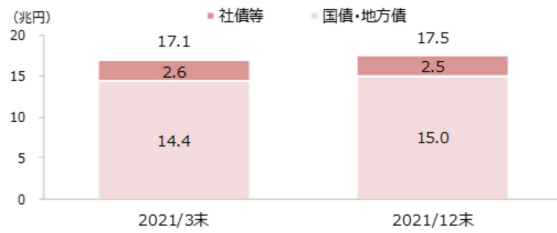
確定利付資産における債券積み増し状況⁽²⁾



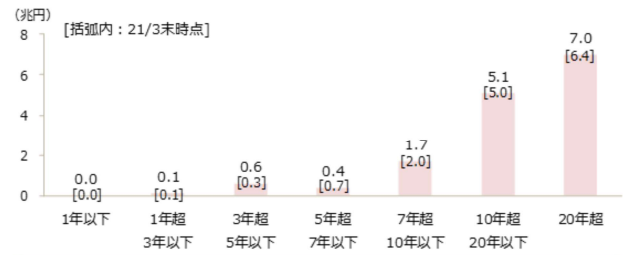
(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 簿価ベース

[第一生命] 資産運用の状況③ - 円建・外貨建債券の状況

円建債券の内訳⁽¹⁾

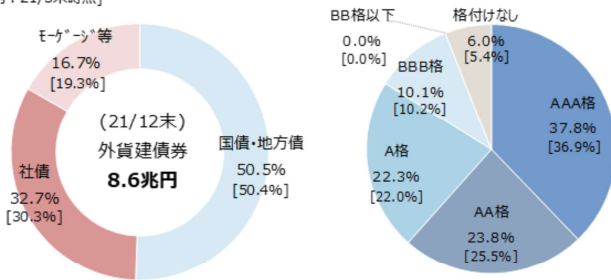


国債の残存期間別残高⁽²⁾ (21/12末)

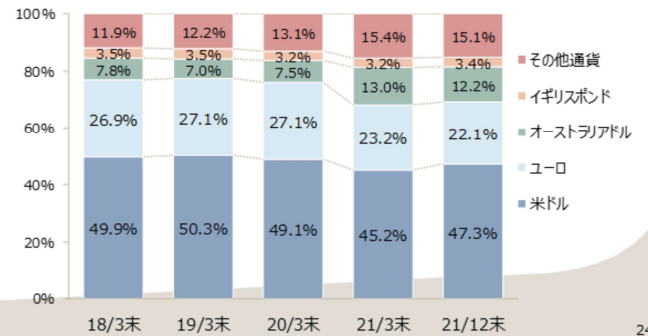


外貨建債券の内訳⁽²⁾⁽³⁾ (21/12末)

[括弧内: 21/3末時点]



外貨建債券の通貨別構成⁽²⁾



(1) 簿価ベース
(2) 買価対照表価額ベース
(3) 格付けはS&P・Moody'sの2社の格付け機関による格付けの中間の評価を採用。モーゲージ等を除く

[第一生命] 健全性指標 - 含み損益とソルベンシー・マージン比率

含み損益(一般勘定)の状況

(億円)	21/3末	21/12末	前期末比	(%)
有価証券	57,089	58,125	+ 1,035	+ 2%
国内債券	25,960	24,381	△ 1,578	△ 6%
外国債券	7,397	8,068	+ 670	+ 9%
うち為替ヘッジ付外貨建債券	5,085	5,699	+ 614	+ 12%
国内株式	21,113	22,464	+ 1,350	+ 6%
外国株式	2,292	2,802	+ 510	+ 22%
不動産	3,562	3,947	+ 385	+ 11%
一般勘定資産合計	60,761	62,210	+ 1,448	+ 2%

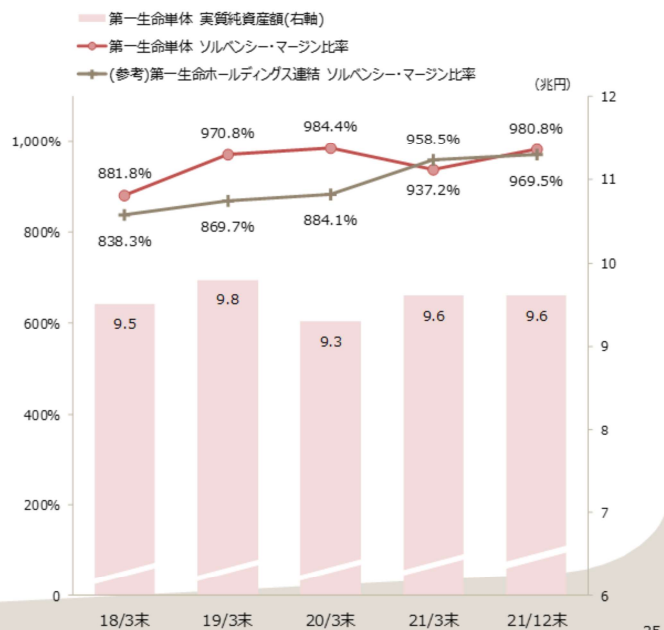
含み損益の市場感応度⁽¹⁾

	含み損益の市場感応度 ⁽¹⁾	含み損益ゼロ水準 ⁽²⁾
国内債券	10年国債利回り10bpの変動で 3,000億円の増減※ (2021年3月末: 2,900億円) ※その他有価証券区分: 200億円の増減 (2021年3月末: 200億円)	10年国債利回り 0.9%※ (2021年3月末: 1.0%) ※その他有価証券区分: 1.5% (2021年3月末: 1.5%)
国内株式	日経平均株価1,000円の変動で 1,200億円の増減 (2021年3月末: 1,200億円)	日経平均株価 ¥10,700 (2021年3月末: ¥11,700)
外国証券	ドル/円 1 円の変動で 230億円の増減 (2021年3月末: 240億円)	ドル/円 \$1 = ¥107 (2021年3月末: ¥105)

(1) 各指標に対応する資産の時価総額の感応度

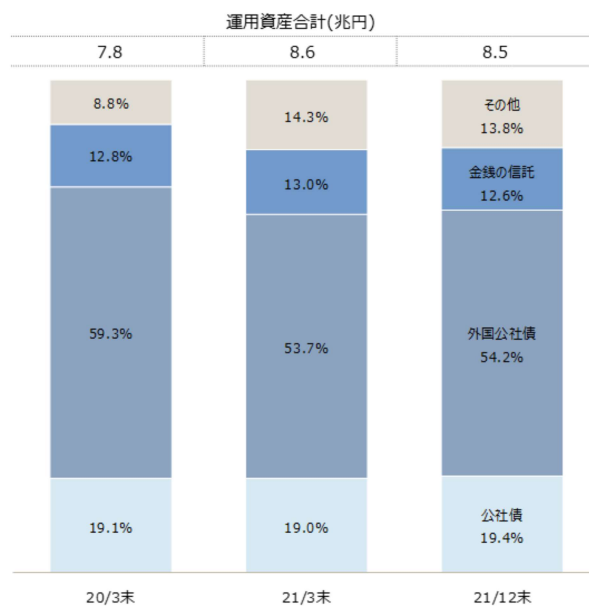
(2) 各指標に対応する資産の含み損益がゼロとなる水準であり、外国証券はドル円換算にて算出した、為替要因のみの含み損益がゼロになる水準

ソルベンシー・マージン比率および実質純資産額



[第一フロンティア生命] 資産運用の状況 - 運用資産構成

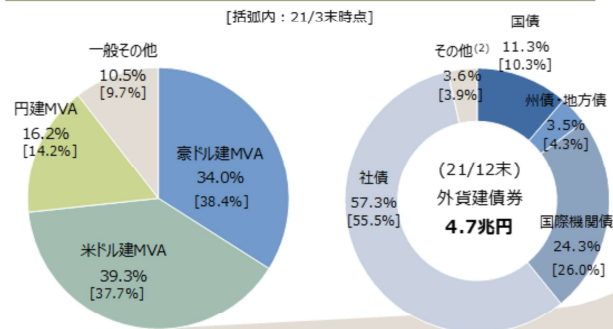
運用資産の構成(一般勘定) ⁽¹⁾



保有目的区分別有価証券の状況 (21/12末)

(億円)	簿価	時価	含み損益
責任準備金対応債券	34,923	37,185	+ 2,261
其他有価証券	28,591	29,983	+ 1,392
公社債	4,576	4,698	+ 122
外国証券	22,234	23,413	+ 1,178
その他の証券	1,701	1,793	+ 92

運用区分別資産残高(一般勘定)と外貨建債券の内訳

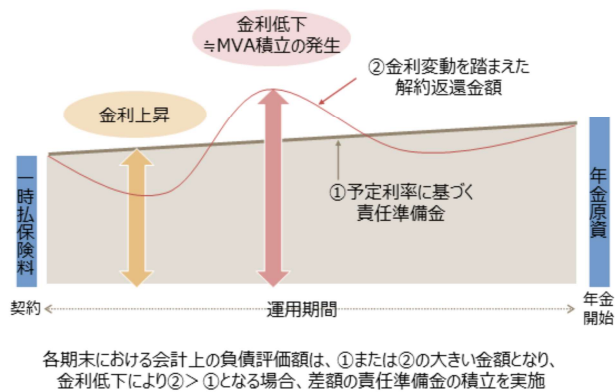


(1) 貸借対照表価額ベース
(2) 国債・社債を裏付けとする仕組み債を含みます

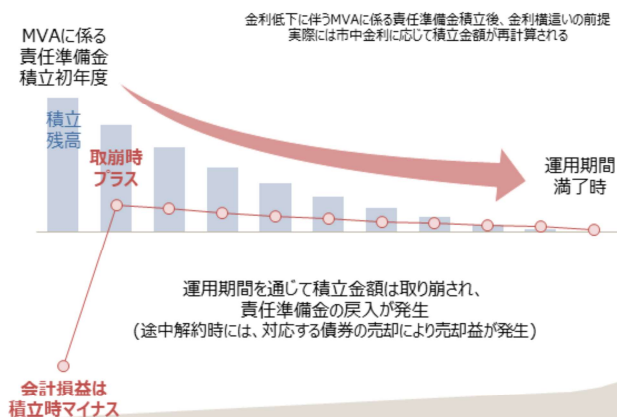
MVA(市場価格調整)関連損益について

- ▶ MVA(市場価格調整)付き商品の負債は、会計上、金利低下により「金利変動を踏まえた解約返還金額」が「予定利率に基づく責任準備金」を上回る場合、差額の責任準備金の積立が発生
- ▶ MVAに係る損益は、期間を通算すれば収支への影響はニュートラルなことから、グループ修正利益には含まない

MVAに係る責任準備金の積立発生(イメージ)



MVAに係る責任準備金残高と会計損益への影響(イメージ)



[米プロテktiv・豪TAL] 営業の状況 - セグメント別営業業績

米プロテktiv 営業業績

(百万米ドル)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	前年同期比	(%)
リテール保険&年金事業	2,201	2,765	+ 564	+ 26%
伝統的保険	192	197	+ 5	+ 3%
ユニバーサル保険	32	64	+ 32	+ 100%
BOLI/COLI ⁽¹⁾	-	641	+ 641	-
定額年金	1,804	1,112	△ 692	△ 38%
変額年金	173	751	+ 578	+ 334%
ステーブルバリュー事業	1,828	3,910	+ 2,082	+ 114%
アセットプロテクション事業	372	572	+ 200	+ 54%

豪TAL 営業業績⁽²⁾⁽³⁾

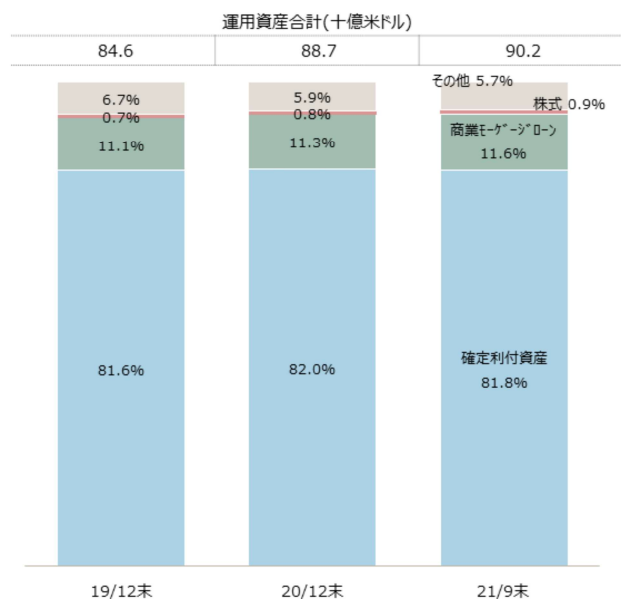
(百万豪ドル)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	前年同期比	(%)
新契約年換算保険料	83	122	+ 39	+ 47%
(TAL) 個人保険	55	67	+ 12	+ 23%
団体保険	26	55	+ 29	+ 112%
アステロン・ライフ	2	-	△ 2	-
既契約増減	114	404	+ 289	+ 252%
(TAL) 個人保険	87	198	+ 110	+ 126%
団体保険	△ 71	206	+ 277	-
アステロン・ライフ	98	-	△ 98	-

※既契約増減は契約更新や料率改定等に伴う既契約の年換算保険料の増減を示す

- (1) BOLI(Bank Owned Life Insurance)/COLI(Corporate Owned Life Insurance)と呼ばれる、契約者・受取人を法人、被保険者を従業員とする福利厚生等を目的とした生命保険です
21/12期1Qより、PLCのリテール保険&年金事業において販売したBOLI/COLI商品の実績を記載しています
- (2) 21/3期1Qより、新契約年換算保険料の計上基準を変更し、従来含めていた既契約増減を除いています
- (3) 22/3期3Qより、全保有契約等のTALへの移転・統合に伴い、旧アステロン・ライフの新契約年換算保険料・既契約増減を(TAL)個人保険・団体保険に含めて記載しています

[米プロテクティブ] 資産運用の状況 - 運用資産構成

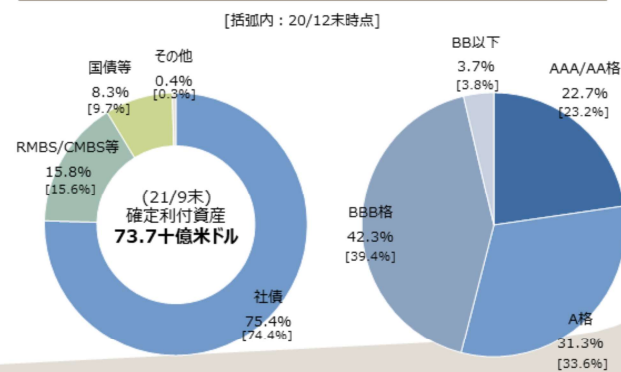
運用資産の構成(一般勘定) (1)



商業モーゲージローンの状況

(百万米ドル)	20/12末	21/9末	増減
商業モーゲージローン(引当前)	10,227	10,609	+ 381
不良債権	2	-	△ 2
貸倒引当金	222	103	△ 119
(対ローン残高)	2.2%	1.0%	△ 1.20%pt

確定利付資産の内訳および格付構成

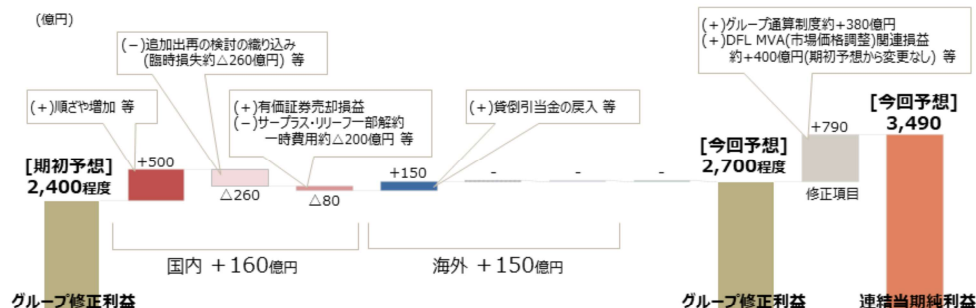


(1) 貸倒対照表価額ベース

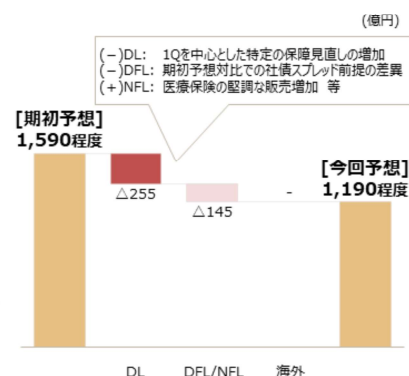
[再掲] 2022年3月期 グループ修正利益・新契約価値予想 – 変動要因(期初予想対比)

- ▶ グループ修正利益は、DL運用収支の改善を踏まえた追加出再の検討やDFLにおける一時費用等を織り込みつつ、通期予想を2,700億円程度へ上方修正
- ▶ 連結純利益は、グループ修正利益の増加に加え、来期より適用検討中のグループ通算制度導入に伴い、当期末に繰延税金資産の増加が見込まれることを反映し、3,490億円に上方修正(なお、制度導入を前提に、DFLの資本効率等の観点から、修正共同保険式再保険(サンプラス・リープ)の一部解約(費用発生)を実施予定)
- ▶ グループ新契約価値は、2Q実績等を踏まえて国内各社の見通しを修正し、グループ全体で1,190億円程度へ下方修正

グループ修正利益予想・期初予想比変動要因



グループ新契約価値予想・期初予想比変動要因



	DL ⁽¹⁾ 基礎利益	DL ⁽¹⁾ キャピタル・ 臨時損益等	DFL/NFL	米PLC	豪TAL	その他 海外	アセリマナメント その他	(グループ修正利益からの増減金額)			DL	DFL/NFL	海外
今回予想	4,500	△2,500	30	460	100	130	10	2,700 程度	+790	3,490 程度	635	245	310
期初予想 (5月)	4,000	△2,240	110	310	100	130	10	2,400 程度	+390	2,790 程度	890	390	310
													1,590 程度

(1) 基礎利益は税前を記載しており、DLにおける法人税等の変動は、キャピタル・臨時損益等に含めています

[再掲] グループ通算制度導入による影響

- ▶ 当社は、国内グループ各社の税務コスト適正化と税務ガバナンス向上を目的として、来期(23/3期)より、グループ通算制度を導入予定(税務当局の承認が前提)
- ▶ グループ通算制度の導入により、国内子会社の繰延税金資産の回収可能性をグループ単位で判定することが可能となるため、当期末(22/3期末)において、繰延税金資産を計上し、連結純資産および連結当期純利益が約380億円増加する見込み(グループ修正利益には含めない)
来期以降は、通算グループ内の所得と欠損を通算することから、現在の各社による単体納税と比較し、全体の税金費用負担は軽減する見込み(グループ修正利益に含む)
- ▶ また、DFLにおいて、繰延税金資産の計上に伴い純資産が増加し、健全性が改善することから、修正共同保険式再保険(サブラス・リリーフ)の一部解約を実施する予定
これにより、DFLは当期(22/3期)に約△200億円の一時費用を計上するものの、来期以降、每期一定の利益改善を見込む(グループ修正利益に含む)

グループ通算制度の導入

[導入時期] 2023年3月期(来期) ※税務当局の承認が前提

[対象会社] 第一生命ホールディングスおよび国内100%出資子会社(全16社)

[導入効果]

(当期: 22/3期)

- ✓ 従来認識できなかった繰延税金資産の一部について、回収可能性をグループ単位で判定することが可能となり、繰延税金資産および純資産が増加

[連結純利益・連結純資産]

約380億円増加見込み(主にDFL)

※グループ修正利益には含めない

(来期以降: 23/3期以降)

- ✓ 国内グループ各社の所得と欠損を通算することから、現在の各社による単体納税と比較し、グループ全体の税金費用負担は軽減する見込み

※グループ修正利益に含む

当期(22/3期)の影響(連結)

資産	負債
繰延税金資産	純資産
増加	利益剰余金
	増加

DFLにおける修正共同保険式再保険(サブラス・リリーフ)の一部解約

[サブラス・リリーフについて]

- ✓ 保険会社の新契約費未回収リスクを軽減する再保険契約(会計上は新契約費負担を平準化する効果)

- ✓ 初年度以降、契約期間にわたり償却

[実施効果] ※グループ修正利益に含む

(当期: 22/3期)

- ✓ グループ通算制度の導入によりDFLにおいて繰延税金資産が計上され純資産が増加し、健全性が改善することから、当期末までにサブラス・リリーフの一部解約を実施予定
※再保険会社の合意が前提

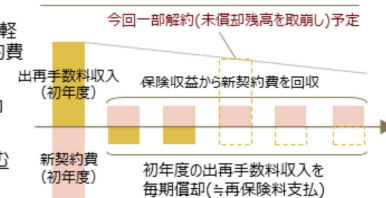
- ✓ 未償却残高相当分は一括費用計上される

[グループ修正利益・連結純利益・連結純資産] 約△200億円減少

(来期以降: 23/3期以降)

- ✓ 償却負担(≒再保険会社への再保険料等支払、リスクチャージ含む)が不要となり、每期一定の利益改善を見込む

サブラス・リリーフと新契約費の関係(イメージ)



グループ修正利益



Dai-ichi Life
Holdings

(億円)	No.	13/3期	14/3期	15/3期	16/3期	17/3期	18/3期	19/3期	20/3期	21/3期 3Q累計	21/3期	22/3期 3Q累計
国内生命保険事業												
第一生命	当期利益	1	514	855	1,521	1,291	1,171	1,699	1,729	1,286	970	1,960
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過分、税後)	2	499	249	192	129	-	-	-	216	-	△216
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過分、税後)	3	-	97	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	4	0	△6	△2	△4	△2	△0	△0	△0	△0	△0
	調整 (4) 持分変動益	5	-	-	-	-	-	-	△14	-	-	-
	調整額合計	6	499	340	189	125	127	△0	△14	216	△0	△216
	修正利益	7	1,013	1,195	1,711	1,416	1,299	1,698	1,714	1,502	970	1,744
第一フロンティア生命	当期利益	8	△265	△152	△219	243	502	370	199	△1,000	421	863
	調整 (1) 危険準備金繰入額 (法定超過額、税後)	9	153	-	-	-	-	-	-	△300	-	480
	調整 (2) 価格変動準備金繰入額 (法定超過額、税後)	10	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
	調整 (3) MVA (市場価格調整) 関連損益 (税後)	11	1	△9	469	75	△270	△79	7	1,935	△125	△772
	調整額合計	12	154	△9	469	75	△270	△79	7	1,635	△125	△292
	修正利益	13	△111	△161	249	318	232	291	207	634	295	571
ネオアースト生命	当期利益	14	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△117	△141
	修正利益	15	-	-	4	△71	△59	△83	△85	△163	△117	△141
国内生命保険事業修正利益		16	902	1,034	1,966	1,664	1,471	1,906	1,836	1,974	1,148	2,174
海外保険事業												
プロテクト	修正利益	17	-	-	-	323	457	349	335	507	232	374
TAL	修正利益	18	89	86	121	103	127	105	98	110	101	152
第一生命ベトナム	修正利益	19	5	10	13	5	5	△20	2	60	45	99
海外保険事業修正利益		20	98	108	157	457	615	468	469	703	386	602
Dai-ichi Re	修正利益	21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0
その他事業(アセットマネジメント事業)		22	18	44	61	59	58	53	104	120	54	99
持株会社・中間持株会社	修正利益	23	-	-	-	-	0	3	△35	△44	△29	△40
連結調整	調整 (1) 受取配当相殺	24	17	27	36	135	44	-	-	-	-	-
	調整 (2) TAL優先株相当	25	-	-	-	-	-	-	10	8	5	7
	調整 (3) のれん償却額	26	38	51	86	63	56	70	82	564	41	57
	調整 (4) 持分変動益 (第一生命)	27	-	-	-	-	-	-	14	-	-	-
	調整 (5) 持分変動益 (持株会社)	28	-	-	-	-	△124	△335	-	-	-	△349
	調整 (6) 米国法人税減税	29	-	-	-	-	△901	-	-	-	-	-
	調整 (7) その他	30	△14	△1	△22	△3	0	39	23	5	△13	△8
グループ修正利益 (項目 31 = 16 + 20 + 21 + 22 + 23 - 24 - 25)		31	1,000	1,160	2,147	2,046	2,101	2,432	2,363	2,745	1,554	2,828
連結当期純利益 (項目 32 = 31 - 6 - 12 - 26 - 27 - 28 - 29 - 30)		32	324	779	1,424	1,785	2,312	3,639	2,250	324	1,652	3,637

[再掲] 修正ROE定義および過去実績

修正ROE = [分子] 修正利益 ÷ [分母] 修正ROE用純資産(年度始・年度末平均)

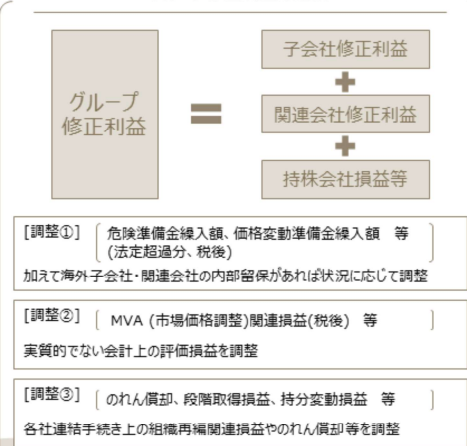
修正ROE用純資産 = 純資産 - のれん - 確定利付資産含み損益(税後)* + 第一フロンティア生命におけるMVA残高(税後)

* 第一生命・ネオファースト生命: 確定利付資産含み損益⁽¹⁾のうち、その他有価証券評価差額金に計上される金額(税後)
第一フロンティア生命・プロテクト: その他有価証券評価差額金

修正ROE過去実績

	2016	2017	2018	2019	2020
(億円 / %)					
グループ修正ROE	8.6%	8.5%	7.6%	9.5%	8.9%
分子 (修正利益)	2,101	2,432	2,363	2,745	2,828
分母 (年度始・年度末平均)	24,485	28,565	30,958	28,753	31,723
分母 (年度末)	26,123	31,008	30,907	26,599	36,847
[分母算出]					
純資産	31,360	37,479	37,124	37,758	48,062
(-) のれん	579	514	489	394	426
(-) 確定利付資産含み損益	4,771	6,035	5,956	12,588	12,005
(+) [第一フロンティア生命] MVA残高	113	79	228	1,824	1,218
修正ROE用純資産	26,123	31,008	30,907	26,599	36,847
うち株主資本	13,007	15,896	17,088	16,415	18,936
第一生命 修正ROE	5.8%	8.0%	7.6%	7.9%	8.4%
分子 (修正利益)	1,254	1,698	1,714	1,502	1,744
分母 (年度始・年度末平均)	21,548	21,274	22,436	19,138	20,771
分母 (年度末)	19,453	23,096	21,777	16,500	25,043
[分母算出]					
純資産	24,816	28,882	28,852	25,499	31,902
(-) 確定利付資産含み損益	5,363	5,786	7,075	8,998	6,858
修正ROE用純資産	19,453	23,096	21,777	16,500	25,043
うち株主資本	5,612	6,960	6,841	6,301	6,791

グループ修正利益の定義



(1) 主に円建債券・買入金銭債券・為替ヘッジ付外貨建債券・確定利付資産を主たる投資対象とする投資信託等の含み損益を定義しています

株主還元方針

株主還元方針

機動的・柔軟な
追加還元の検討
(21/3期より)

- ・ 総還元性向の目安
中期平均 50%

追加還元検討における考慮要素

資本充足率(ESR)水準
市場関連リスク・感応度削減の状況

持株会社キャッシュの状況
グループ財務レバレッジ

戦略投資機会の有無
当社株価等

[自己株式消却方針]
使途が見込まれない自己株式は保有しないものとし、
使途が見込まれない自己株式を保有している状態が生じた場合には、
適切な時期に自己株式の消却を行います

〔総還元性向の
推移イメージ〕

追加還元の規模・タイミング等は戦略的に判断

〔配当性向の推移イメージ〕

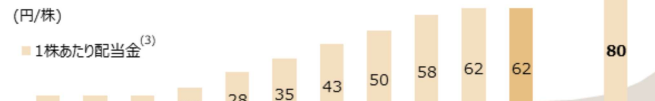
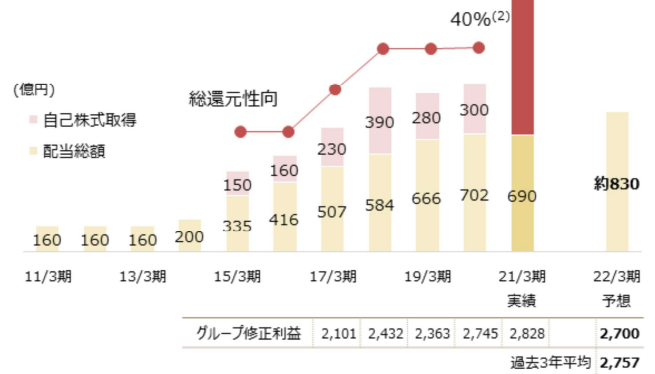
利益に応じた
安定配当
(22/3期より)

〔配当性向〕 毎期 **30%以上**

- ・ グループ修正利益過去3年平均をベース
- ・ 1株あたり配当の減配は原則行わない

株主還元の推移

3/31公表
[追加還元方針の早期適用]
2,000億円⁽¹⁾



(1) 2021年3月31日取締役会において決議した自己株式取得の上限金額 (2) DLICにおける金融派生商品の一時的な上振れ要因等を控除した実質的なグループ修正利益水準を基に算出 (3) 13/3期以前については株式分割後の換算値

第一生命グループ - 連結財務諸表(要約)

連結損益計算書

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減
経常収益	50,850	56,737	+ 5,887
保険料等収入	32,451	37,444	+ 4,993
資産運用収益	16,302	16,749	+ 447
利息・配当金等収入	9,921	10,109	+ 187
有価証券売却益	2,693	2,827	+ 134
金融派生商品収益	-	-	-
為替差益	1,268	917	△ 350
特別勘定資産運用益	2,053	1,092	△ 960
その他経常収益	2,096	2,542	+ 446
経常費用	47,838	52,062	+ 4,224
保険金等支払金	31,735	41,704	+ 9,969
責任準備金等繰入額	6,653	243	△ 6,409
資産運用費用	2,360	2,389	+ 29
有価証券売却損	897	1,166	+ 269
有価証券評価損	188	52	△ 135
金融派生商品費用	299	454	+ 155
為替差損	-	-	-
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	4,957	5,402	+ 445
経常利益	3,012	4,674	+ 1,662
特別利益	6	1	△ 4
特別損失	237	249	+ 11
契約者配当準備金繰入額	564	608	+ 44
税金等調整前四半期純利益	2,216	3,817	+ 1,601
法人税等合計	564	888	+ 324
非支配株主に帰属する四半期純利益	-	-	-
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,652	2,929	+ 1,276

連結貸借対照表

(億円)	21/3末	21/12末	増減
資産の部合計	635,937	658,051	+ 22,114
現金・コール	22,878	23,613	+ 734
買入金銭債権	2,521	2,633	+ 112
有価証券	508,799	524,546	+ 15,747
貸付金	37,626	39,080	+ 1,454
有形固定資産	11,132	11,329	+ 196
繰延税金資産	120	84	△ 35
負債の部合計	587,865	608,099	+ 20,233
保険契約準備金	510,514	520,913	+ 10,399
責任準備金	498,972	508,428	+ 9,455
社債	8,997	8,853	△ 144
その他負債	46,712	57,082	+ 10,370
退職給付に係る負債	4,185	4,211	+ 25
価格変動準備金	2,644	2,822	+ 178
繰延税金負債	5,583	5,959	+ 375
純資産の部合計	48,071	49,951	+ 1,880
株主資本合計	18,936	19,776	+ 840
その他の包括利益累計額合計	29,125	30,168	+ 1,042
その他有価証券評価差額金	30,563	30,962	+ 399
土地再評価差額金	△ 220	△ 241	△ 21

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一生命 - 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減
経常収益	27,015	31,695	+ 4,679
保険料等収入	16,611	16,652	+ 40
資産運用収益	9,296	9,583	+ 286
利息・配当金等収入	6,009	6,092	+ 82
有価証券売却益	2,066	2,471	+ 405
金融派生商品収益	-	-	-
特別勘定資産運用益	1,067	850	△ 216
その他経常収益	1,106	5,459	+ 4,353
経常費用	24,903	28,767	+ 3,864
保険金等支払金	14,276	21,444	+ 7,167
責任準備金等繰入額	2,781	199	△ 2,581
資産運用費用	3,180	2,335	△ 844
有価証券売却損	890	1,147	+ 257
有価証券評価損	60	58	△ 2
金融派生商品費用	1,309	352	△ 956
為替差損	343	202	△ 141
特別勘定資産運用損	-	-	-
事業費	2,935	2,985	+ 50
その他経常費用	1,730	1,802	+ 71
減価償却費	268	297	+ 28
経常利益 (△は損失)	2,111	2,927	+ 815
特別利益	6	1	△ 4
特別損失	194	202	+ 7
契約者配当準備金繰入額	564	608	+ 44
税引前四半期純利益 (△は損失)	1,359	2,118	+ 758
法人税等合計	388	594	+ 205
四半期純利益 (△は損失)	970	1,523	+ 553

貸借対照表

(億円)	21/3末	21/12末	増減
資産の部合計	389,243	396,533	+ 7,290
現金・コールド	7,838	8,648	+ 810
買入金銭債権	2,521	2,555	+ 33
有価証券	334,670	340,041	+ 5,371
貸付金	25,760	25,838	+ 77
有形固定資産	10,861	11,011	+ 149
繰延税金資産	-	-	-
負債の部合計	357,341	363,458	+ 6,117
保険契約準備金	308,444	304,263	△ 4,181
責任準備金	302,953	298,582	△ 4,371
危険準備金	5,998	5,998	-
社債	4,762	3,687	△ 1,075
その他負債	33,402	43,998	+ 10,595
退職給付引当金	4,001	4,062	+ 61
価格変動準備金	2,334	2,469	+ 135
繰延税金負債	3,122	3,791	+ 668
純資産の部合計	31,902	33,075	+ 1,172
株主資本合計	6,791	6,250	△ 541
評価・換算差額等合計	25,110	26,825	+ 1,714
その他の有価証券評価差額金	25,366	27,085	+ 1,719
土地再評価差額金	△ 220	△ 241	△ 21

以下の項目については、責任準備金の戻入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

第一フロンティア生命 – 財務諸表(要約)

損益計算書

(億円)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減
経常収益	12,349	13,872	+ 1,523
保険料等収入	6,496	10,110	+ 3,613
資産運用収益	5,852	2,948	△ 2,904
最低保証リスクに対するヘッジ利益	-	-	-
為替差益	1,616	1,120	△ 496
経常費用	11,813	12,754	+ 940
保険金等支払金	9,736	12,118	+ 2,382
責任準備金等繰入額	1,703	9	△ 1,694
最低保証リスクに係る責任準備金繰入額	△ 47	19	+ 67
危険準備金繰入額	△ 6	4	+ 10
資産運用費用	8	171	+ 163
最低保証リスクに対するヘッジ損失	75	19	△ 56
為替差損	-	-	-
事業費	306	378	+ 71
経常利益 (△は損失)	536	1,118	+ 582
特別利益	0	-	△ 0
特別損失	43	43	+ 0
法人税等合計	72	157	+ 85
四半期純利益 (△は損失)	421	916	+ 495
【参考】			
四半期純利益 (△は損失)	421	916	+ 495
基礎利益・最低保証リスクヘッジ損益 ⁽¹⁾	320	283	△ 36
その他キャピタル・その他臨時損益	141	172	+ 30
MVA(市場価格調整)関連損益 ⁽²⁾	68	665	+ 597
危険/価格変動準備金繰入/戻入額・法人税等合計	△ 108	△ 205	△ 96

貸借対照表

(億円)	21/3末	21/12末	増減
資産の部合計	96,989	95,115	△ 1,873
現金・コール	7,901	8,182	+ 281
有価証券	75,143	74,227	△ 916
負債の部合計	94,167	91,832	△ 2,335
保険契約準備金	82,133	81,328	△ 804
責任準備金	81,894	81,080	△ 813
(MVA残高)	1,692	925	△ 766
危険準備金	1,113	1,117	+ 4
純資産の部合計	2,821	3,283	+ 461
株主資本合計	1,363	2,280	+ 916
資本金	1,175	1,175	-
資本剰余金	675	675	-
利益剰余金	△ 486	430	+ 916
その他有価証券評価差額金	1,457	1,002	△ 455

- (1) 最低保証リスクに関連した損益には、最低保証リスクに係る責任準備金繰入額及び同ヘッジ損益に加え、変動商品の危険保険料や最低保証に係る支払、再保険収支等を含む(21/3期3Q: △ 6億円、22/3期3Q: △ 4億円)
- (2) MVA(市場価格調整)に係る責任準備金繰入/戻入のうち、資産運用損益勘定で相殺され、経常利益に影響を及ぼさない部分は除く

以下の項目については、責任準備金の繰入/繰入や関連する資産の含み益/損等と相殺されるものを含む
(特別勘定資産運用益/損 為替差益/損 金融派生商品収益/費用)

米プロテktiv - 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万米ドル)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	増減
経常収益	7,822	9,715	+ 1,892
保険料等収入	4,384	4,728	+ 343
資産運用収益	2,440	3,811	+ 1,370
その他経常収益	996	1,175	+ 178
経常費用	7,547	9,271	+ 1,723
保険金等支払金	4,447	4,645	+ 197
責任準備金等繰入額	1,366	3,448	+ 2,082
資産運用費用	803	81	△ 722
事務費	725	833	+ 107
その他経常費用	204	262	+ 57
経常利益 (△は損失)	274	443	+ 169
特別利益	-	-	-
特別損失	0	3	+ 2
法人税等合計	55	80	+ 25
四半期純利益 (△は損失)	219	360	+ 140

貸借対照表

(百万米ドル)	20/12末	21/9末	増減
資産の部合計	126,908	130,665	+ 3,756
現金	814	737	△ 76
有価証券	87,534	90,056	+ 2,522
貸付金	11,825	12,156	+ 331
有形固定資産	218	238	+ 19
無形固定資産	3,167	3,347	+ 179
のれん	825	956	+ 131
その他の無形固定資産	2,309	2,358	+ 49
再保険貸	14,784	15,442	+ 658
負債の部合計	115,552	120,135	+ 4,583
保険契約準備金	105,121	109,466	+ 4,345
再保険借	486	499	+ 13
社債	1,670	1,666	△ 3
その他負債	6,329	6,817	+ 487
純資産の部合計	11,355	10,529	△ 826
株主資本合計	7,848	8,027	+ 179
その他の包括利益累計額合計	3,507	2,501	△ 1,005

(1) 米国の会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

豪TAL – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(百万豪ドル)	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減
経常収益	5,117	4,875	△ 242
保険料等収入	4,334	4,686	+ 351
資産運用収益	293	124	△ 168
その他経常収益	489	64	△ 424
経常費用	4,930	4,785	△ 144
保険金等支払金	3,656	3,695	+ 39
責任準備金等繰入額	465	199	△ 265
資産運用費用	25	30	+ 5
事業費	647	710	+ 63
その他経常費用	136	149	+ 13
経常利益 (△は損失)	187	89	△ 97
特別損益	-	-	-
法人税等合計	64	28	△ 36
四半期純利益 (△は損失)	122	61	△ 61
基礎的収益力	149	247	+ 97

貸借対照表

(百万豪ドル)	21/3末	21/12末	増減
資産の部合計	13,269	14,113	+ 844
現預金	1,000	871	△ 128
有価証券	6,902	7,223	+ 320
有形固定資産	33	32	△ 0
無形固定資産	1,066	1,046	△ 20
のれん	786	786	-
その他無形固定資産	280	259	△ 20
再保険貸	179	183	+ 4
その他資産	3,946	4,658	+ 712
繰延税金資産	140	98	△ 42
負債の部合計	9,992	10,845	+ 853
保険契約準備金	7,919	8,610	+ 690
再保険借	684	919	+ 235
社債	243	240	△ 3
その他負債	1,144	1,075	△ 68
繰延税金負債	-	-	-
純資産の部合計	3,276	3,267	△ 8
株主資本合計	3,276	3,267	△ 8
資本金	2,130	2,130	-
利益剰余金	1,146	1,137	△ 8

(1) オーストラリアの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

第一生命ベトナム – 財務諸表(要約)⁽¹⁾



損益計算書

(十億越ドン)	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	増減
経常収益	12,334	15,032	+ 2,698
保険料等収入	11,012	13,439	+ 2,426
資産運用収益	1,321	1,580	+ 259
その他経常収益	0	12	+ 11
経常費用	11,101	12,460	+ 1,359
保険金等支払金	1,909	2,588	+ 678
責任準備金等繰入額	3,847	3,685	△ 162
資産運用費用	0	0	+ 0
事業費	5,271	6,117	+ 845
その他経常費用	72	68	△ 3
経常利益（△は損失）	1,233	2,572	+ 1,338
特別利益	2	2	+ 0
特別損失	0	0	+ 0
法人税等合計	248	530	+ 282
四半期純利益（△は損失）	987	2,043	+ 1,055

貸借対照表

(十億越ドン)	20/12末	21/9末	増減
資産の部合計	37,400	42,875	+ 5,475
現金	8,782	10,480	+ 1,698
有価証券	22,705	26,275	+ 3,569
貸付金	800	942	+ 141
有形固定資産	100	80	△ 20
無形固定資産	51	41	△ 10
再保険貸	-	-	-
負債の部合計	26,683	30,115	+ 3,431
保険契約準備金	24,130	27,804	+ 3,674
再保険借	37	199	+ 161
その他負債	2,511	2,107	△ 403
純資産の部合計	10,717	12,760	+ 2,043
株主資本合計	10,717	12,760	+ 2,043

(1) ベトナムの会計基準で作成した財務諸表を、当社の開示基準に準じて組み替えた上で開示

主要子会社別損益計算書(要約)

(単位)	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテクト			東TAL			第一生命ベトナム			連結		
	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	増減	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減	20/12期 3Q累計	21/12期 3Q累計	増減	21/3期 3Q累計	22/3期 3Q累計	増減
経常収益	27,015	31,695	+ 4,679	12,349	13,872	+ 1,523	1,094	1,345	+ 251	8,275	10,873	+ 2,597	4,034	4,066	+ 32	567	736	+ 169	50,850	56,737	+ 5,887
保険料等収入	16,611	16,652	+ 40	6,496	10,110	+ 3,613	1,092	1,342	+ 249	4,638	5,291	+ 652	3,417	3,909	+ 491	506	658	+ 151	32,451	37,444	+ 4,993
資産運用収益	9,296	9,583	+ 286	5,852	2,948	△ 2,904	1	3	+ 1	2,582	4,265	+ 1,683	231	103	△ 127	60	77	+ 16	16,302	16,749	+ 447
利息・配当金等収入	6,009	6,092	+ 82	1,313	1,252	△ 60	1	2	+ 1	2,527	2,670	+ 143	11	△ 0	△ 11	60	72	+ 12	9,921	10,109	+ 187
有価証券売却益	2,066	2,471	+ 405	574	304	△ 269	-	0	+ 0	52	51	△ 1	-	-	-	-	-	-	2,693	2,827	+ 134
金融資産売却収益	-	-	-	1,152	-	△ 1,152	-	-	-	-	47	+ 47	-	-	-	-	-	-	-	-	-
為替差損	-	-	-	1,016	1,120	△ 496	-	-	-	-	-	-	4	0	△ 4	-	-	-	1,248	917	△ 330
特別前払資産運用損	1,067	850	△ 216	985	242	△ 743	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,053	1,092	△ 960
その他経常収益	1,106	5,459	+ 4,353	0	814	+ 813	0	0	+ 0	1,054	1,315	+ 260	385	53	△ 331	0	0	+ 0	2,096	2,542	+ 446
経常費用	24,903	28,767	+ 3,864	11,813	12,754	+ 940	1,212	1,400	+ 188	7,984	10,376	+ 2,391	3,886	3,991	+ 105	510	610	+ 99	47,838	52,062	+ 4,224
保険会等支払金	14,276	21,444	+ 7,167	9,736	12,118	+ 2,382	366	670	+ 303	4,705	5,199	+ 493	2,882	3,082	+ 200	87	126	+ 38	31,735	41,704	+ 9,969
責任準備金等投入額	2,781	199	△ 2,581	1,703	9	△ 1,694	636	470	△ 166	1,445	3,860	+ 2,414	366	166	△ 200	176	180	+ 3	6,653	243	△ 6,409
資産運用費用	3,180	2,335	△ 844	8	171	+ 163	0	0	△ 0	850	91	△ 759	19	25	+ 5	0	0	+ 0	2,360	2,389	+ 29
有価証券売却損	890	1,147	+ 257	1	17	+ 15	-	-	-	5	1	△ 3	-	-	-	-	-	-	897	1,166	+ 269
有価証券取得損	60	58	△ 2	-	-	-	-	-	-	127	△ 5	△ 133	-	-	-	-	-	-	188	52	△ 135
金融資産売却費用	1,309	352	△ 956	-	148	+ 148	-	-	-	142	-	△ 142	-	-	-	-	-	-	299	454	+ 155
為替差損	343	202	△ 141	-	-	-	-	-	-	0	0	△ 0	-	-	-	0	0	+ 0	-	-	-
特別前払資産運用損	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
事業費	2,935	2,985	+ 50	306	378	+ 71	201	248	+ 47	767	932	+ 165	510	592	+ 82	242	299	+ 57	4,957	5,402	+ 445
経常利益 (△は損失)	2,111	2,927	+ 815	536	1,118	+ 582	△ 117	△ 54	+ 62	290	496	+ 205	147	75	△ 72	56	126	+ 69	3,012	4,674	+ 1,662
特別利益	6	1	△ 4	0	-	△ 0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0	0	+ 0	6	1	△ 4
特別損失	194	202	+ 7	43	43	+ 0	0	0	+ 0	0	3	+ 3	-	-	-	0	0	+ 0	237	249	+ 11
契約者配当準備金繰入額	564	608	+ 44	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	564	608	+ 44
税金等調整前当期純利益	1,359	2,118	+ 758	493	1,074	+ 581	△ 117	△ 55	+ 62	290	493	+ 202	147	75	△ 72	56	126	+ 69	2,216	3,817	+ 1,601
法人税等合計	388	594	+ 205	72	157	+ 85	0	0	-	58	90	+ 31	51	24	△ 27	11	26	+ 14	564	888	+ 324
非支配株主に帰属する当期純利益	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-
四半期純利益 (△は損失)	970	1,523	+ 553	421	916	+ 495	△ 117	△ 55	+ 62	232	403	+ 171	96	50	△ 45	45	100	+ 54	1,652	2,929	+ 1,276

主要子会社別貸借対照表(要約)



	第一生命			第一フロンティア生命			ネオファースト生命			米プロテktiv			家TAL			第一生命ベトナム			連結		
(億円)	21/3末	21/12末	増減	21/3末	21/12末	増減	21/3末	21/12末	増減	20/12末	21/9末	増減	21/3末	21/12末	増減	20/12末	21/9末	増減	21/3末	21/12末	増減
資産の部合計	389,243	396,533	+7,290	96,989	95,115	△1,873	3,528	3,940	+411	131,349	146,240	+14,890	11,194	11,773	+579	1,683	2,100	+417	635,937	658,051	+22,114
現金・預金	7,838	8,548	+810	7,901	8,182	+281	2,489	2,516	+26	842	825	△17	844	727	△116	395	513	+118	22,878	23,613	+734
貸入金・貸付金	2,521	2,555	+33	-	78	+78	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,521	2,633	+112
有価証券	334,670	340,041	+5,371	75,143	74,227	△916	628	807	+178	90,597	100,790	+10,193	5,823	6,025	+202	1,021	1,287	+265	508,799	524,516	+15,717
貸付金	25,760	25,838	+77	-	-	-	13	15	+1	12,239	13,805	+1,566	13	11	△2	36	46	+10	37,626	39,080	+1,454
有形固定資産	10,861	11,011	+149	5	14	+8	2	1	△1	226	266	+40	28	27	△1	4	3	△1	11,132	11,329	+196
無形固定資産	1,194	1,285	+90	121	142	+20	43	57	+14	3,278	3,746	+467	900	872	△27	2	2	△1	4,451	4,923	+472
繰延税金資産	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	118	81	△36	3	4	+1	120	84	△35
負債の部合計	357,341	363,458	+6,117	94,167	91,832	△2,335	3,335	3,803	+468	119,596	134,455	+14,859	8,227	8,864	+637	1,200	1,475	+274	587,865	608,099	+20,233
保険契約準備金	308,444	304,263	△4,181	82,133	81,328	△804	3,276	3,746	+470	108,800	122,515	+13,714	6,681	7,182	+501	1,085	1,362	+276	510,514	520,913	+10,399
責任準備金	302,953	298,582	△4,371	81,894	81,080	△813	3,257	3,718	+461	107,826	121,339	+13,513	1,899	1,869	△29	1,050	1,324	+273	498,972	508,428	+9,455
社債	4,762	3,687	△1,075	-	-	-	-	-	-	1,729	1,865	+136	205	200	△5	-	-	-	8,997	8,853	△144
その他の負債	33,402	43,998	+10,595	3,961	3,496	△465	53	52	△1	6,550	7,629	+1,078	762	713	△48	113	103	△9	46,712	57,082	+10,370
退職給付に係る負債	4,001	4,062	+61	-	-	-	-	-	-	116	113	△3	-	-	-	0	0	+0	4,185	4,211	+25
繰延税金負債	2,334	2,469	+135	309	352	+43	0	0	+0	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2,644	2,822	+178
繰延税金負債	3,122	3,791	+668	566	389	△177	0	0	△0	1,896	1,772	△123	-	-	-	-	-	-	5,583	5,959	+375
純資産の部合計	31,902	33,075	+1,172	2,821	3,283	+461	192	136	△56	11,753	11,784	+31	2,966	2,909	△57	482	625	+142	48,071	49,951	+1,880
株主資本合計	6,791	6,250	△541	1,363	2,280	+916	191	135	△55	9,146	9,349	+202	3,024	2,997	△27	537	637	+100	18,936	19,776	+840
その他の包括利益累計額合計	25,110	26,825	+1,714	1,457	1,002	△455	1	0	△1	2,606	2,434	△171	△57	△87	△30	△55	△12	+42	29,125	30,168	+1,042
その他の包括利益累計額合計	25,366	27,085	+1,719	1,457	1,002	△455	1	0	△1	3,689	2,858	△830	-	-	-	-	-	-	30,563	30,962	+399
土地・建物等評価損	△220	△241	△21	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	△220	△241	△21

第一生命グループ連結ソルベンシー・マージン比率

(億円)	21/3末	21/12末	増減
ソルベンシー・マージン総額 (A)	89,372	94,502	+ 5,129
資本金等 ⁽¹⁾	15,191	16,398	+ 1,207
価格変動準備金	2,644	2,822	+ 178
危険準備金	7,129	7,135	+ 5
一般貸倒引当金	3	2	△ 0
(その他有価証券評価差額金(税効果控除前)・繰延ヘッジ損益(税効果控除前))×90% (マイナスの場合100%)	37,579	38,192	+ 613
土地の含み損益×85% (マイナスの場合100%)	2,556	2,832	+ 275
未認識数理計算上の差異及び未認識過去勤務費用の合計額(税効果控除前)	△128	△97	+ 31
全期チルメル式責任準備金相当額超過額	23,233	22,575	△ 658
負債性資本調達手段等	10,312	10,037	△ 275
全期チルメル式責任準備金相当額超過額及び負債性資本調達手段等のうち、マージンに算入されない額	△7,314	△4,105	+ 3,209
控除項目	△2,557	△2,629	△ 71
その他	722	1,336	+ 614
リスクの合計額 (B) $\sqrt{[(R_1^2 + R_2^2) + R_3 + R_4]^2 + (R_5 + R_6 + R_7)^2} + R_8 + R_9$	18,648	19,494	+ 846
保険リスク相当額 R_1	1,400	1,456	+ 55
一般保険リスク相当額 R_5	39	42	+ 3
巨大災害リスク相当額 R_6	13	15	+ 2
第三分野保険の保険リスク相当額 R_8	1,899	1,852	△ 47
少額短期保険業者の保険リスク相当額 R_9	-	-	-
予定利率リスク相当額 R_2	2,303	2,158	△ 145
最低保証リスク相当額 $R_7^{(2)}$	671	729	+ 57
資産運用リスク相当額 R_3	14,932	15,858	+ 926
経営管理リスク相当額 R_4	425	442	+ 17
ソルベンシー・マージン比率 (A) / { (1/2) × (B) }	958.5%	969.5%	+11.0%pt

(1) 社外流出予定額及びその他の包括利益累計額等を除く
(2) 標準的方法を用いて算出

本資料の問い合わせ先

第一生命ホールディングス株式会社
経営企画ユニット IRグループ
電話：050－3780－6930

免責事項

本プレゼンテーション資料の作成にあたり、第一生命ホールディングス株式会社（以下「当社」という。）は当社が入手可能なあらゆる情報の正確性や完全性に依拠し、それを前提としていますが、その正確性または完全性について、当社は何ら表明または保証するものではありません。本プレゼンテーション資料に記載された情報は、事前に通知することなく変更されることがあります。本プレゼンテーション資料およびその記載内容について、当社の書面による事前の同意なしに、第三者が公開または利用することはできません。

将来の業績に関して本プレゼンテーション資料に記載された記述は、将来予想に関する記述です。将来予想に関する記述には、これに限りませんが「信じる」、「予期する」、「計画」、「戦略」、「期待する」、「予想する」、「予測する」または「可能性」や将来の事業活動、業績、出来事や状況を説明するその他類似した表現を含みます。将来予想に関する記述は、現在入手可能な情報をもとにした当社の経営陣の判断に基づいています。そのため、これらの将来に関する記述は、様々なリスクや不確定要素に左右され、実際の業績は将来に関する記述に明示または黙示された予想とは大幅に異なる場合があります。したがって、将来予想に関する記述に依拠することのないようご注意ください。新たな情報、将来の出来事やその他の発見に照らして、将来予想に関する記述を変更または訂正する一切の義務を当社は負いません。